

クラウドファイルサーバー FAQ

第 1.7 版

2021/09/28

富士通株式会社

<変更履歴>

版数	発行日	変更内容
初版	2014/03/07	—
1.1	2014/07/22	・Q1 のケース 3「アクセスが拒否されました」 プロキシ認証に関する対処を追記する。
1.2	2014/10/23	・Q1 のケース 4「プラットフォームのバージョン情報」を追加する。 ・Q2,Q3,Q4 を追加する。
1.3	2017/01/24	マニュアルの名称を見直す。
1.4	2019/04/01	・Q1-2, Q1-3 を追加する。 ・Q2-2 を追加する。 ・Q3,Q4 を利用形態別に記載する。 ・Q5,Q6,Q7,Q8,Q9,Q10,Q11,Q12,Q13,Q14,Q15 を追加する。
1.5	2020/02/19	以下の項目を更新する ・Q14 の【対処】 Office アップロードセンターの設定 以下の項目を追加する。 ・Q16,Q17,Q18
1.6	2020/12/15	以下の項目を追加、加筆する。 ・1, 2, 3 および、Q12,Q19,Q20,Q21
1.7	2021/09/28	以下の項目を追加する。 Q22

目次

1. はじめに.....	6
2. 本書の目的	6
3. 本書の位置づけ	6
Q1. 「クラウドファイルサーバーを開く」ボタンをクリックするとエラー画面が表示されて起動できない	7
Q1-1. 「使用していたアプリケーションでエラーが発生しました」.....	7
Q1-2. 「Web サイトの復元エラー『fj-cloud.net に戻ることができませんでした。』」.....	12
Q1-3. 「Internet Explorer は動作を停止しました」.....	12
Q2. クラウドファイルサーバーへログインできない.....	13
Q2-1. インターネットのアクセス制御に Proxy 認証を使用している場合.....	13
Q2-2. 「ユーザーID はロックされています。」.....	13
Q2-2. その他.....	14
Q3. クラウドファイルサーバーへアップロードできる最大のファイルサイズは？	15
Q4. クラウドファイルサーバーからダウンロードできる最大のファイルサイズは？	17
Q5. ファイルを削除しても「使用容量」が減らない.....	18
Q5-1. ごみ箱にファイルが残っている	18
Q5-2. 「キャビネット稼働状況」に反映されない.....	18

Q6. 直接編集で保存した際「システムに不具合が生じた為、データが保存されない場合があります」と表示される.....	19
Q6-1. Excel のブックの共有設定が ON の場合	19
Q7. IP アドレス / MAC アドレスのアクセス制限で接続できない.....	20
Q7-1. IP アドレス制限を設定したところ接続できなくなった	20
Q7-2. MAC アドレス制限を設定したところ管理機能に接続できなくなった	20
Q8. Microsoft Office(Word, Excel, PowerPoint) でファイル間の「リンク」機能を使いたい	21
Q9. 操作ログに関して	22
Q9-1. 90 日を過ぎた操作ログが見られない.....	22
Q10. 各種お届け、手続きについて.....	23
Q10-1. 窓口担当者が変更になった.....	23
Q10-2. ファイルサーバー管理者 ID パスワードを初期化したい.....	23
Q11. アプリケーションの警告-セキュリティの警告画面が表示される	24
Q12. 「ネットワーク回線の異常を検知しました。」が表示される、もしくは「URL コピー」で出力されたリンクをクリックしても反応しない（表示・ダウンロードされない）場合	26
Q13. 「ネットワークドライブに再接続できませんでした。」と表示され、再起動の度に切断される。.....	32
Q14. 「アップロードできませんでした。」のメッセージに、[コンピューター側のバージョンを保持]ボタン、[サーバー側のバージョンを保持]ボタンが表示される	34
Q15. MAC アドレス制限をしたはずの端末から接続できてしまう.....	38
Q15-1. MAC アドレス制限を“利用する”に変更していない場合	38

Q15-2. 登録していない MAC アドレスの端末から接続できてしまう場合	38
Q16. ロック情報の日時がずれている	39
Q17. ネットワークドライブ対応オプションサービスでキャビネット、ドロア、フォルダの中身、ファイルの一覧が表示されない・非表示になってしまう	40
Q17-1. 禁止文字が使われている.....	40
Q17-2. パスが長い.....	41
Q17-3. Windows 10 バージョン 1709 の環境.....	42
Q18. ネットワークドライブに接続できず割り当てられない	43
Q18-1. ユーザーID、パスワードの確認のため、基本サービスにログインする	44
Q18-2. ネットワークドライブ利用ユーザーへの登録.....	44
Q18-3. ユーザーID の有効期限や、ロックを解除する	44
Q18-4. Windows の WebClient サービスの確認	45
Q18-5. Windows の資格情報マネージャーの確認.....	45
Q19. 「指定されたファイル/フォルダが見つからないか、アクセス権がありません。」と表示される。	46
Q20. 「このユーザーID ではタブレット版にログインできません。」と表示される。	47
Q21. 「アプリケーションを起動できませんでした。」や「Windows によって PC が保護されました。」と表示される。	48
Q22. Edge で「ブラウザアプリケーション」を利用する.....	51
Q22-1. 「インターネットオプション」の事前設定	53
Q22-2. Edge の[設定]-[既定のブラウザ]から IE モードを有効化する.....	56

Q22-3. Edge の[設定] -[既定のブラウザ-]から[IEモードの許可]が存在しない場合（グループポリシーの設定）	57
Q22-4. IEモードでブラウザアプリケーションを起動する	61
Q22-5. IEモードを自動で開く方法（Enterprise Mode Site List Manager のXMLによる設定）	62

本書は、2021年9月28日時点の情報をもとに作成したものです。改良のため予告なく変更することがあります。

本書の無断複製および転載を禁じます。

本書に記載されている会社名・製品名・システム名・サービス名などは、各社の登録商標、もしくは商標です。

1. はじめに

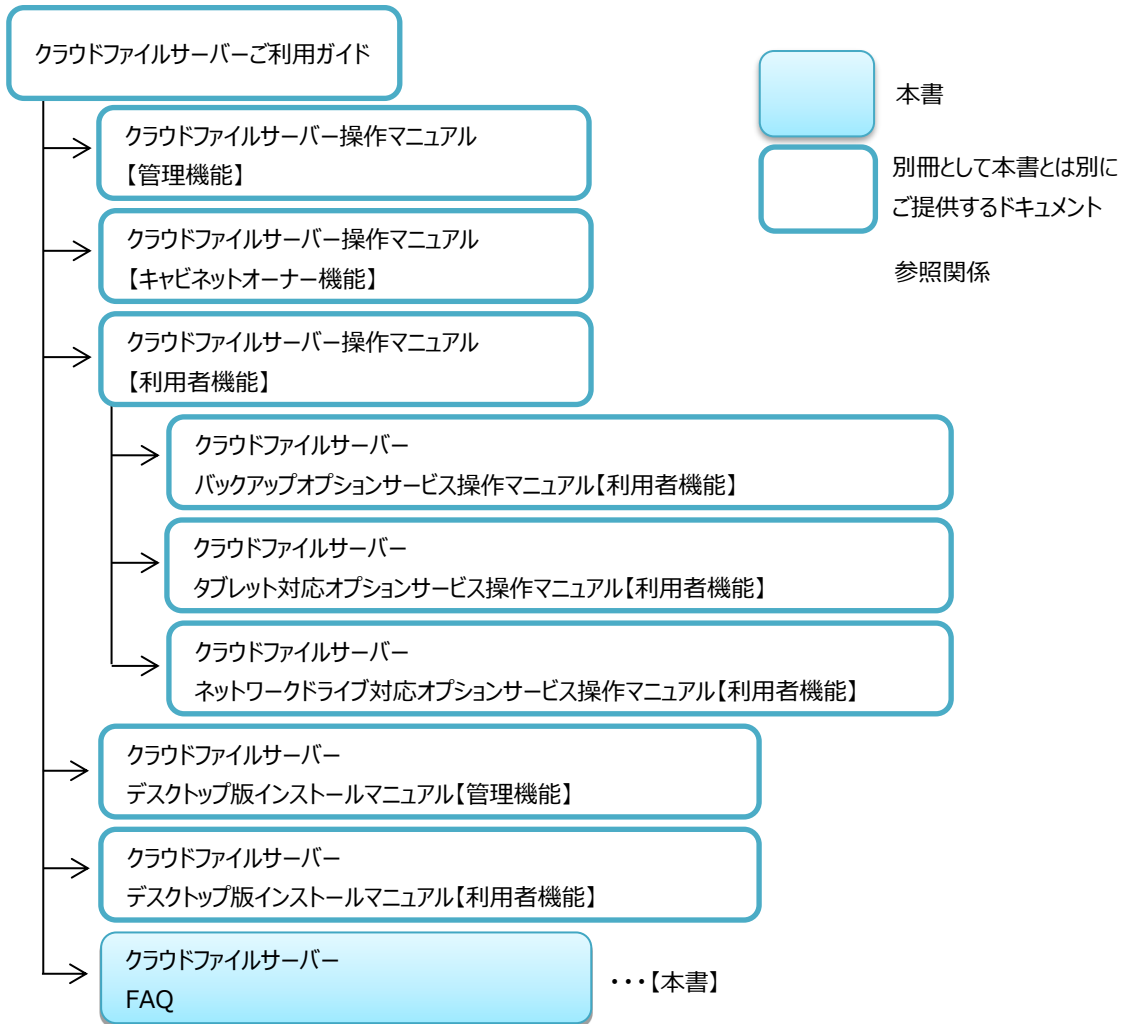
クラウドファイルサーバー（以下、ファイルサーバー）は、クラウドコンピューティング技術を活用したファイルの保管・共有サービスです。

2. 本書の目的

ファイルサーバーの各機能を利用するうえでのトラブル等について説明することを目的としています。なお、本書は別冊提供の「[クラウドファイルサーバーご利用ガイド](#)」をご覧いただいていることを前提としています。

3. 本書の位置づけ

本書は、他のドキュメントに対し、以下のような参照関係があります。必要に応じて対象のドキュメントをご参照ください。



Q1. 「クラウドファイルサーバーを開く」ボタンをクリックするとエラー画面が表示されて起動できない

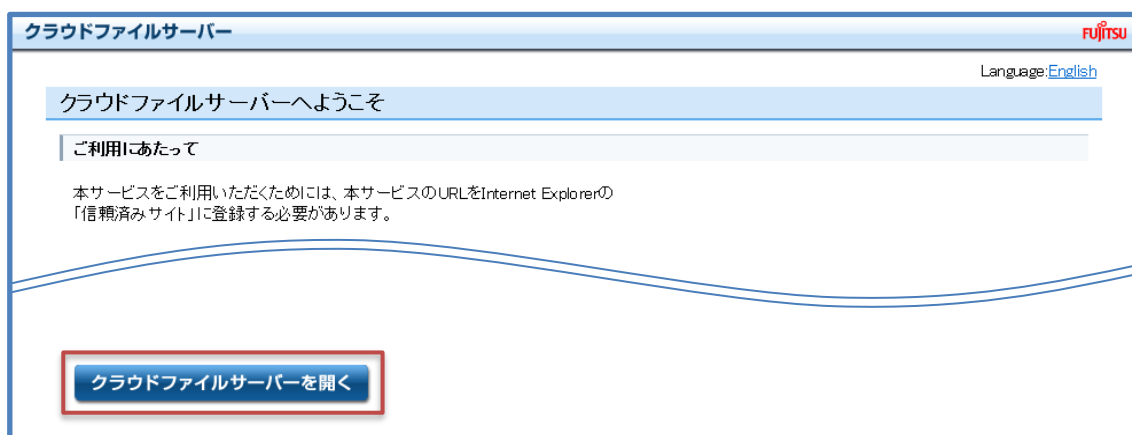
ようこそ画面で「クラウドファイルサーバーを開く」ボタンをクリックした際に、エラー画面(使用していたアプリケーションでエラーが発生しました)が表示される場合は、表示されるエラー内容により、対応方法が異なります。

表示内容の確認方法と表示される内容のケースごとに対応方法を説明します。

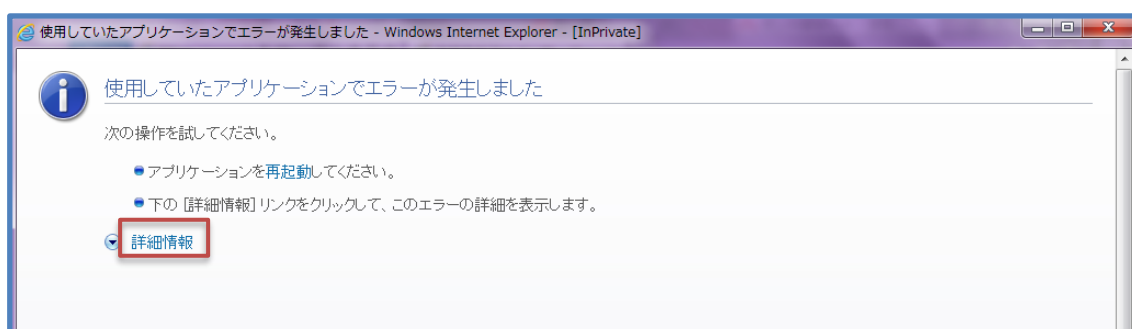
Q1-1. 「使用していたアプリケーションでエラーが発生しました」

1. 表示される内容の確認方法

クラウドファイルサーバーへようこそ画面で「クラウドファイルサーバーを開く」ボタンをクリックした場合に、エラー画面(使用していたアプリケーションでエラーが発生しました)が表示された場合のエラー内容の確認方法を説明します。



次のエラー画面が表示された場合は、「詳細情報」をクリックし、メッセージを確認します。



ケース 1. メッセージに「このアプリケーションの種類は無効です。」が表示される



【対処 1】

1. Internet Explorer を起動し、[インターネットオプション]の[セキュリティ]を選択します。
2. [信頼済みサイト]をクリックし、[サイト]ボタンをクリックします。
3. [Web サイト]の欄にクラウドファイルサーバーの URL(*)が表示されていない場合は、[この Web サイトをゾーンに追加する]にクラウドファイルサーバーの URL(*)を入力し、[追加]ボタンをクリックします。

*URL は「https://***.fs.fj-cloud.net」となり、「***」はお客様により異なります。

お客様の窓口担当者の方に送付している設定完了通知書の「接続先情報」に記載しています。

【対処 2】

1. Internet Explorer を起動し、[インターネットオプション]の[セキュリティ]を選択します。
2. [信頼済みサイト]をクリックし、[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。
3. [.NET Framework]の[XAML ブラウザー アプリケーション]で「有効にする」をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。

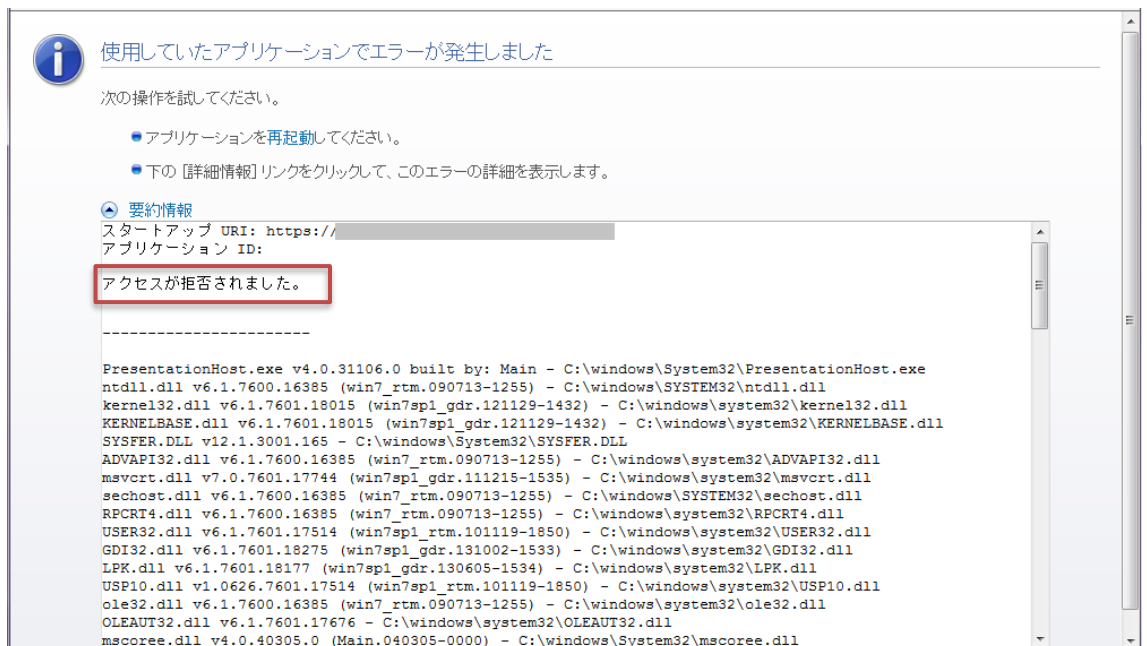
ケース 2. メッセージに「指定されたリソースのダウンロードは失敗しました。」が表示される



【対処】

1. Internet Explorer を起動し、[インターネットオプション]の[セキュリティ]を選択します。
2. [設定]のツリーで、「セキュリティ」の「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。

ケース 3. メッセージに「アクセスが拒否されました。」が表示される



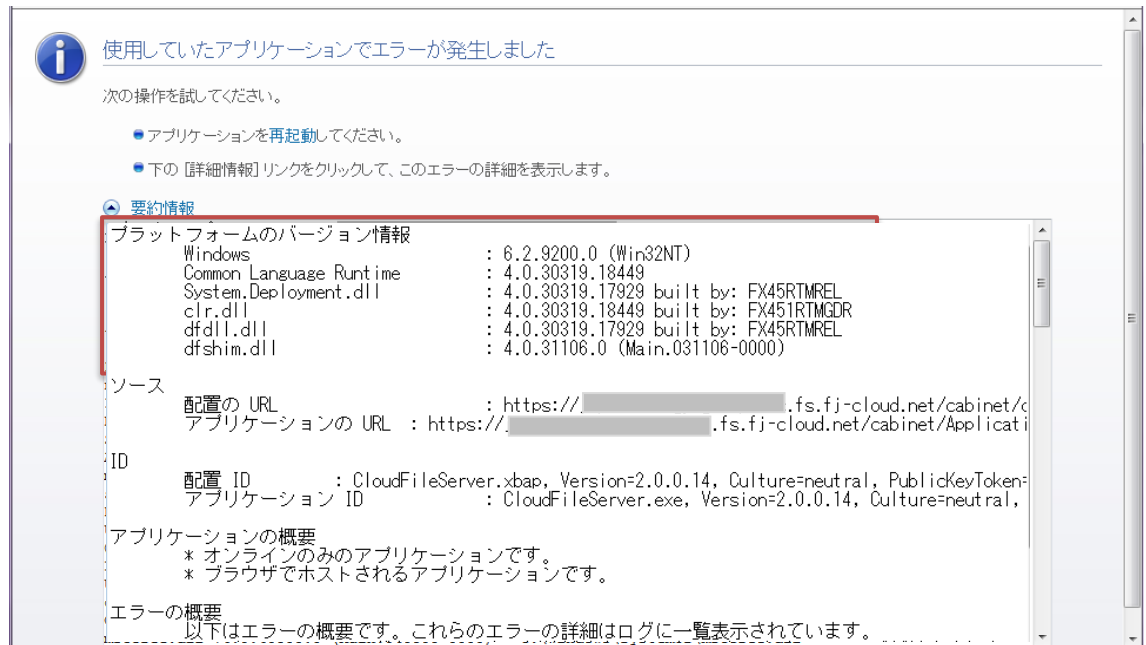
【対処 1】

お客様環境にて、パソコンからの接続先を Firewall 等で制限している場合は、Firewall 等の管理者に設定完了通知書に記載の接続先情報(URL)への接続許可を設定してもらう必要があります。設定完了通知書は、本サービスご利用の窓口担当者の方に送付しています。

【対処 2】

お客様環境にて、インターネットへアクセスする際にプロキシ認証を使用されている場合は、プロキシ等の管理者に、設定完了通知書に記載の接続先情報(URL)へのプロキシ認証を解除してもらう必要があります。設定完了通知書は、本サービスご利用の窓口担当者の方に送付しています。

ケース 4. 要約情報に「プラットフォームのバージョン情報」が表示される



【対処 1】

1. スタートボタンより「すべてのプログラム」を選択し、「アクセサリ」の下の「コマンド プロンプト」をクリックします。
2. コマンドプロンプトで、次のコマンドを実行します。
`rundll32 %windir%\system32\dfshim.dll CleanOnlineAppCache`
3. `exit` を実行し、コマンドプロンプトを終了します。

【対処 2】

Windows、Internet Explorer、.NET Framework のセキュリティ更新プログラムが適用されているか確認し、未適用の場合は適用してください。

セキュリティ更新プログラムは、コントロールパネルの Windows Update から確認できます。

Q1-2. 「Web サイトの復元エラー『fj-cloud.net に戻ることができませんでした。』」

各種ツールバー（Google ツールバーや Yahoo ツールバー等）の影響で「クラウドファイルサーバー」が起動せず、「Web サイトの復元エラー『fj-cloud.net に戻ることができませんでした。』」などエラーメッセージが表示されることがあります。

【対処】

1. Internet Explorer を起動し、[Alt]キーを押してメニューを表示させます。
2. [ツール]-[アドオンの管理]メニューを選択します。
3. 「アドオンの管理」ダイアログが開きますので、一覧からご利用中のツールバーを選択し、右下部の[無効にする]ボタンを押してください。
4. [ツール]-[インターネットオプション]より[全般]タブにある[削除]ボタンを押します。
5. 閲覧の履歴の削除]より、[インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル]のみにチェックを入れ、[削除]ボタンを押します。
6. 「インターネットオプション」ダイアログで[OK]ボタンを押し、ダイアログを閉じます。

Q1-3. 「Internet Explorer は動作を停止しました」

【対処】

Internet Explorer にウイルス対策ソフトの「アクセス制御のアドオン」が入っているかご確認ください。

1. Internet Explorer を起動し、[Alt]キーを押してメニューを表示させます。
2. [ツール]-[アドオンの管理]メニューを選択します。
3. アドオンの管理」ダイアログが開きますので、一覧から「アクセス制御のアドオン」を選択し、右下部の[無効にする]ボタンを押し、[閉じる]ボタンを押してダイアログを閉じます。

Q2. クラウドファイルサーバーへログインできない

クラウドファイルサーバーのログイン画面で、正しいユーザーID とパスワードを入力してもログインできない場合は、次の対処を行ってください。

Q2-1. インターネットのアクセス制御に Proxy 認証を使用している場合

【対処】

お客様環境にて、インターネットへアクセスする際にプロキシ認証を使用されている場合は、プロキシ等の管理者に、設定完了通知書に記載の接続先情報(URL)へのプロキシ認証を解除してもらう必要があります。設定完了通知書は、本サービスご利用の窓口担当者の方に送付しています。

Q2-2. 「ユーザーID はロックされています。」

【対処】

パスワード入力の間違えを、管理者が設定した回数以上に達した場合アカウントがロックされます。この場合、管理者に「管理機能」からアカウントロックされたユーザーID の解除を依頼してください。

【ユーザーID のロック解除手順】

1. 「管理機能」にログインします。
https://***.fs.fj-cloud.net/manager/ ※URL の「***」はお客様により異なります。
2. メニューより[ユーザー管理]-[編集]をクリックします。
3. 該当ユーザーID の右側の[更新]ボタンをクリックします。
4. 「ユーザー情報編集」画面の右列中段にアカウントロックのチェックボックスがあります。チェックされている場合は、チェックを外しアカウントロックを解除します。
※パスワードを覚えている場合は、ここでのパスワードの設定は不要です。
5. [保存]ボタンをクリックします。
6. 該当ユーザーID で、ファイルサーバー機能にログインできるか確認します。
https://***.fs.fj-cloud.net/ ※URL の「***」はお客様により異なります。



※詳細は「[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【管理機能】](#)」の「9. ユーザーを管理する」をご覧ください。

※「管理機能」と「利用機能」で同一ユーザーID の場合、パスワードも共通です。「管理機能」にログインできなくなった場合は「設定変更申請書」に必要事項を記入後、サポートデスク宛てにお送りください。

※「設定変更申請書」は「クラウドファイルサーバー サポートサイト」からダウンロードできます。

Q2-2. その他

【対処 1】

1. スタートボタンより「すべてのプログラム」を選択し、「アクセサリ」の下の「コマンド プロンプト」をクリックします。
2. コマンドプロンプトで、次のコマンドを実行します。
`rundll32 %windir%\system32\dfshim.dll CleanOnlineAppCache`
3. カーソルがバックグラウンド中  から、通常のカーソル  に戻れば処理終了です。
4. `exit` を実行し、コマンドプロンプトを終了します。

【対処 2】

Windows、Internet Explorer、.NET Framework のセキュリティ更新プログラムが適用されているか確認し、未適応の場合は適用してください。

セキュリティ更新プログラムは、コントロールパネルの Windows Update から確認できます。

Q3. クラウドファイルサーバーへアップロードできる最大のファイルサイズは？

クラウドファイルサーバーへアップロードできる最大のファイルサイズは、操作画面（利用形態）によっても以下の通り異なります。

	操作画面（利用形態）	最大ファイルサイズ
基本サービス	ブラウザアプリケーション	(注 1) 200GB
	デスクトップアプリケーション	(注 1) 200GB
オプションサービス	タブレット対応オプションサービス	100MB
	ネットワークドライブ対応オプションサービス	2GB

(注 1) 下記の【留意事項】をご確認下さい。

なお、1 度にアップロード可能な総容量については、以下の 3 点を満たしていれば制限はございません。

- 端末側で暗号化するため端末側にアップロードするファイルサイズの合計と同容量の空きがあること
- クラウドファイルサーバーのキャビネットにも同容量の空きがあること
- 1 ファイルあたりのファイルサイズが、下記のアップロード時ブロックサイズによる最大ファイルサイズ内であること

【留意事項】

(1) 基本サービスで「アップロード時ブロックサイズ」を変更した場合

アップロード時ブロックサイズの設定によりアップロードできる最大ファイルサイズが変わります。

「アップロード時ブロックサイズ」は利用者機能にログイン後、メニューの[ツール]-[動作環境設定]の[転送設定]項目にて変更することができます。ユーザーID 毎に設定が必要です。

アップロード時ブロックサイズ	最大ファイルサイズ
0.5MB	25GB
1.0MB	50GB
1.5MB	75GB
2.0MB	100GB
2.5MB	125GB
3.0MB	150GB
3.5MB	175GB
4.0MB	200GB

(2) P Cのファイルシステムが、FAT32 の場合

アップロードできる最大のファイルサイズは、FAT32 で扱えるファイルの最大サイズである 4GB となります。

(3) 基本サービス利用時のパソコンの空き容量について

アップロードに先立ち、対象ファイルはパソコン側で暗号化されます。

そのため、パソコン側にアップロードするファイルと同容量の空き容量が必要となります。

Q4. クラウドファイルサーバーからダウンロードできる最大のファイルサイズは？

クラウドファイルサーバーからダウンロードできる最大のファイルサイズは、操作画面（利用形態）によっても以下の通り異なります。

	操作画面（利用形態）	最大ファイルサイズ
基本サービス	ブラウザアプリケーション	(注1) 200GB
	デスクトップアプリケーション	(注1) 200GB
オプションサービス	タブレット対応オプションサービス	100MB
	ネットワークドライブ対応オプションサービス	(注2) 50MB

(注1) 下記の【留意事項】をご確認下さい。

(注2) Windows の仕様により 50MB の制限がございます。レジストリの変更で制限値を変更する事が可能ですが自己責任となります。詳細は「[クラウドファイルサーバー ネットワークドライブ対応オプションサービス操作マニュアル【利用者機能】](#)」[7.留意事項(4)アップロード・ダウンロード時の制限]をご確認下さい。

なお、1 度にダウンロード可能な総容量については、以下の 2 点を満たしていれば制限はございません。

- 端末側で暗号化するため端末側にダウンロードするファイルサイズの合計と同容量の空きがあること
- 1 ファイルあたりのファイルサイズが、下記のダウンロード時ブロックサイズによる最大ファイルサイズ内であること

【留意事項】

(1) 基本サービスで「ダウンロード時ブロックサイズ」を変更した場合

ダウンロード時ブロックサイズの設定により変わります。「ダウンロード時ブロックサイズ」は利用者機能にログイン後、メニューの[ツール]-[動作環境設定]の[転送設定]項目にて変更することができます。ユーザーID 毎に設定が必要です。

ダウンロード時ブロックサイズ	最大ファイルサイズ
0.5MB	25GB
1.0MB	50GB
1.5MB	75GB
2.0MB	100GB
2.5MB	125GB
3.0MB	150GB
3.5MB	175GB
4.0MB	200GB

(2) P Cのファイルシステムが、FAT32 の場合

ダウンロードできる最大のファイルサイズは、FAT32 で扱えるファイルの最大サイズである 4GB となります。

Q5. ファイルを削除しても「使用容量」が減らない

Q5-1. ごみ箱にファイルが残っている

フッター（画面右下）の「使用容量」はごみ箱も含んでおり、ごみ箱にファイルが存在する間は「使用容量」に含まれます。

【対処】

1. 完全に削除するファイルやフォルダを選択します。
2. ごみ箱の編集メニューから[削除]をクリックします。
3. 削除確認のポップアップ画面が表示されます。[はい]をクリックするとごみ箱から削除されます。

※詳細は「[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【一般ユーザー編】](#)」の「24. ごみ箱から削除する」をご覧ください。

Q5-2. 「キャビネット稼働状況」に反映されない

管理機能のメニュー[稼働状況]-[キャビネット稼働状況]の「利用実績」に表示されている情報は前日の情報です。夜間にバッチ処理を行い集計しているため、当日の利用実績は翌日に反映されます。

※「利用実績」はキャビネットごとにご確認できます。ドロア・フォルダ・ユーザー単位での確認はできません。

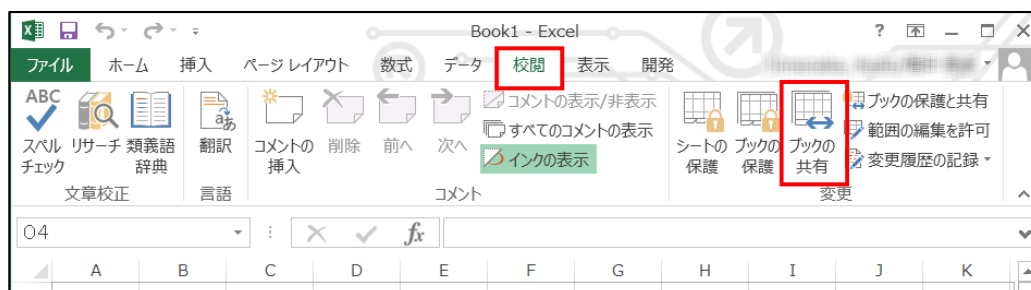
Q6. 直接編集で保存した際「システムに不具合が生じた為、データが保存されない場合があります」と表示される

Q6-1. Excel のブックの共有設定が ON の場合

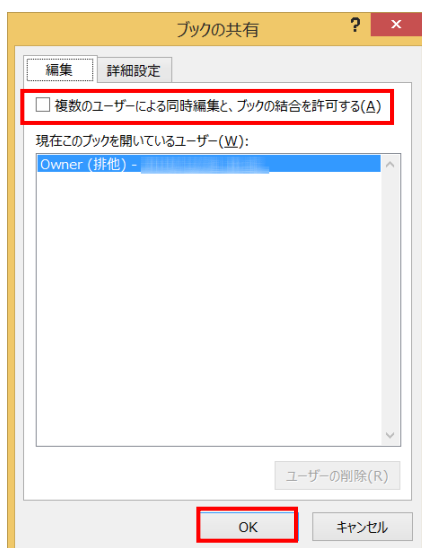
直接編集で共有設定が ON のファイルを上書き保存した際、上記メッセージが表示され保存されません。

【対処】

1. 現象が発生している Excel ファイルをダウンロードし、ダウンロードした PC で開いてください。
2. 開いた Excel ファイルの[校閲]タブを選択し、[変更]-[ブックの共有]をクリックしてください。



3. 「ブックの共有」ダイアログが開きますので、[編集]タブ配下の[複数のユーザーによる同時編集と、ブックの結合を許可する]チェックボックスのチェック状態を確認してください。
4. チェックボックスがチェックされている場合、チェックを外して Excel ファイルを保存し、クラウドファイルサーバーにアップロードして再度、直接編集しご確認ください。



Q7. IP アドレス / MAC アドレスのアクセス制限で接続できない

Q7-1. IP アドレス制限を設定したところ接続できなくなった

アクセス制限で設定する IP アドレスは「グローバル IP アドレス」です。これに対し「プライベート(ローカル)IP アドレス」は、ユーザーが使用するパソコンのコントロールパネルの設定「ローカルエリア接続の状態」から確認できる「IPv4 アドレス」等のことです。この「プライベート(ローカル)IP アドレス」は、アクセス制限には使えませんのでご注意ください。

【対処】

グローバル IP アドレスの設定範囲はお客様でご契約されているネットワーク事業者にご確認ください。

Q7-2. MAC アドレス制限を設定したところ管理機能に接続できなくなった

【対処】

サポートデスクで MAC アドレス制限を解除いたしますので「クラウドファイルサーバー設定変更申請書」に「IP アドレス制限解除 / MAC アドレス制限解除」の有無をご記入後、窓口担当者からメールにてサポートデスクまでお送りください。

※「クラウドファイルサーバー設定変更申請書」は「[クラウドファイルサーバー サポートサイト](#)」からダウンロードできます。

Q8. Microsoft Office(Word, Excel, PowerPoint) でファイル間の「リンク」機能を使いたい

ファイル間での「リンク」機能は対応していません。

Q9. 操作ログに関して

Q9-1. 90 日を過ぎた操作ログが見られない

操作ログの保存期間は 90 日です。過去の操作ログが必要な場合は、あらかじめダウンロードし保存してください。

※詳細は「[クラウドファイルサーバー 操作マニュアル【管理機能】](#)」の「11.操作ログを照会する」をご覧ください。

Q10. 各種お届け、手続きについて

Q10-1. 窓口担当者が変更になった

【対処】

「クラウドファイルサーバー設定変更申請書」に変更後の窓口担当者情報をご記入の上、窓口担当者からメールにてサポートデスクまでお送りください。

※「クラウドファイルサーバー設定変更申請書」は「[クラウドファイルサーバー サポートサイト](#)」からダウンロードできます。

Q10-2. ファイルサーバー管理者 ID パスワードを初期化したい

【対処】

「クラウドファイルサーバー設定変更申請書」に「対象管理者 ID」をご記入の上、窓口担当者からメールにてサポートデスクまでお送りください。

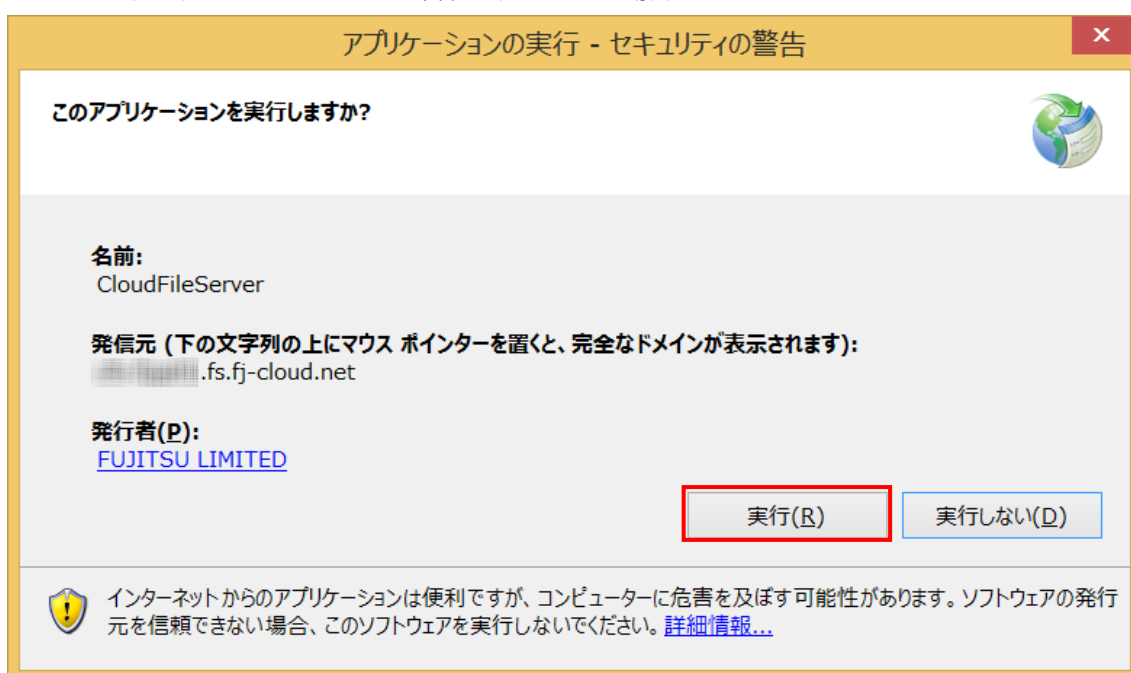
※「クラウドファイルサーバー設定変更申請書」は「[クラウドファイルサーバー サポートサイト](#)」からダウンロードできます。

Q11. アプリケーションの警告-セキュリティの警告画面が表示される

クラウドファイルサーバーを起動時、「アプリケーションの実行-セキュリティの警告」画面が表示される場合がございます。
「アプリケーションの実行 - セキュリティの警告」画面は以下の場合に表示されます。この画面はアプリケーションの発行者を確認する画面で、発行者が"FUJITSU LIMITED"であれば問題ございません。

【表示される場合】

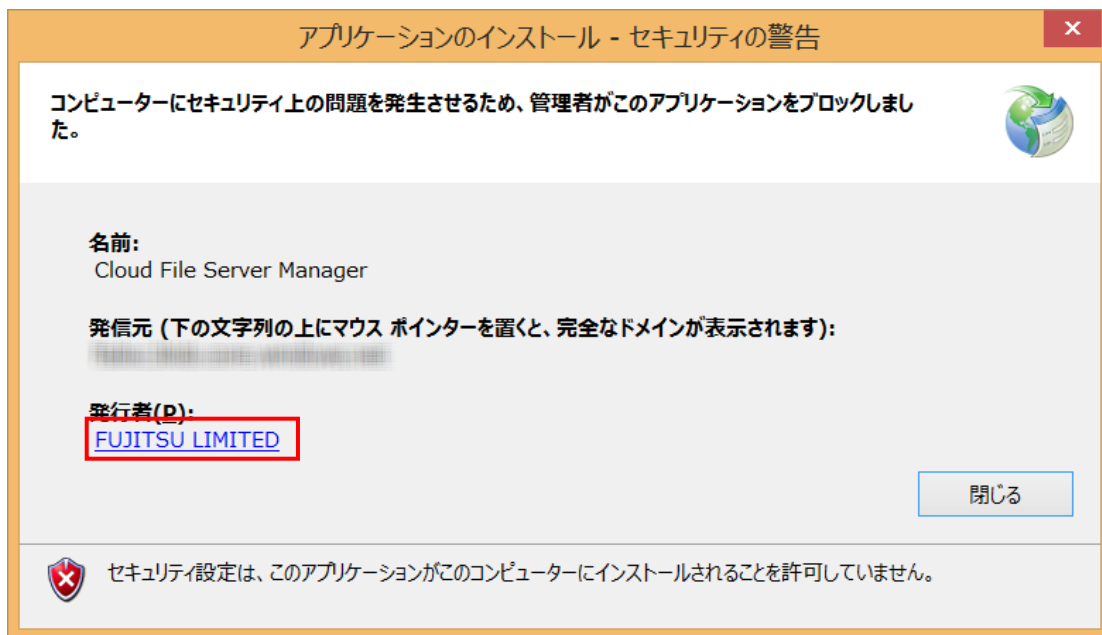
1. 初めてクラウドファイルサーバーにアクセスされた場合
2. メンテナンス、または機能追加によりアプリケーションがアップグレードされた場合
3. クライアント PC のアプリケーションのキャッシュがクリアされた場合



【対処】

[実行]ボタンを押下する

【 [実行]ボタンが表示されず、[閉じる]ボタンしか表示されていない場合 】



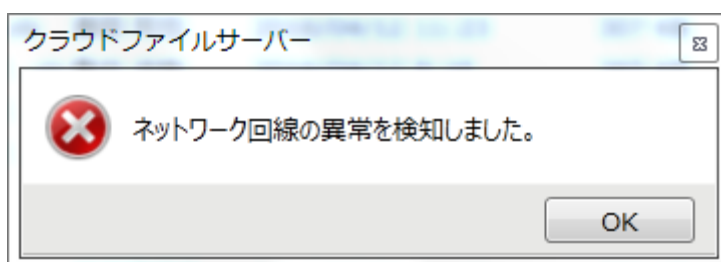
以下の手順にて証明書をインストールし、クラウドファイルサーバーがご利用できるかお試しください。

1. クラウドファイルサーバーを起動し、「アプリケーションのインストール - セキュリティの警告」画面まで進みます。
2. 発行者：“FUJITSU LIMITED” のリンクの青い文字をクリックします。
3. 「証明書」画面が表示されたら[証明書のインストール...]をクリックします。
4. 「証明書のインポートウィザード」が開始されます。
保存場所の選択画面が表示された場合は[現在のユーザー]を選択した状態で[次へ]ボタンをクリックします。
5. 次の画面では[証明書をすべて次のストアに配置する]を選択して[参照...]ボタンをクリックします。
6. 「証明書ストアの選択」画面では[信頼された発行者]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
7. 内容を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。
8. 「完了」画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。
9. 「正しくインポートされました」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックして閉じます。

Q12. 「ネットワーク回線の異常を検知しました。」が表示される、もしくは「URL コピー」で出力されたリンクをクリックしても反応しない（表示・ダウンロードされない）場合

インストール時や起動時、または何らかの操作時に、「ネットワーク回線の異常を検知しました。」エラーが表示される。もしくは「URL コピー」で出力した URL（共有リンク）をクリックしてもなにも反応がなく、フォルダまたはファイルが表示されない、ダウンロードされない、といった場合は以下の対処の実施をお願いいたします。

<エラー画面>



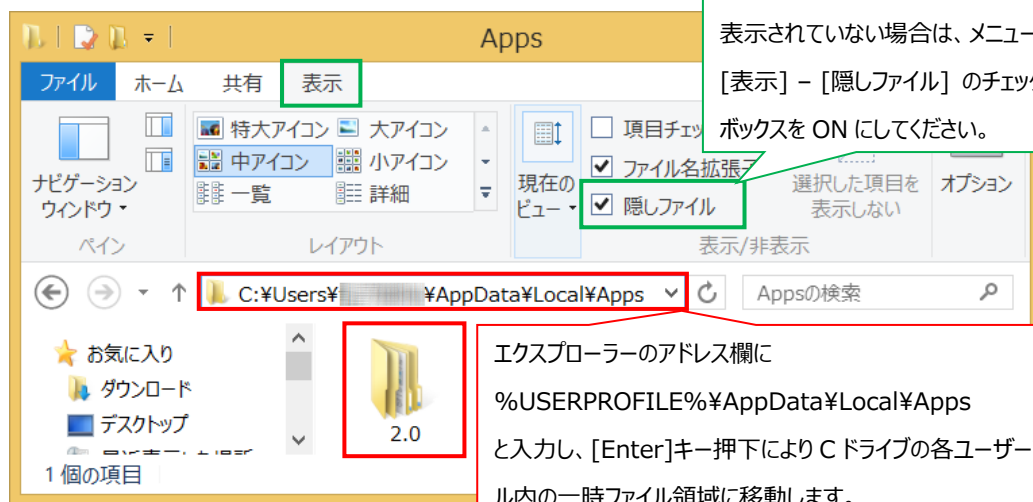
<対処>

○Web（ブラウザ）アプリケーション、デスクトップアプリケーションの場合

1. アプリケーションの一時領域の削除

- 1) クラウドファイルサーバーが終了していることを確認し、下記フォルダ内を削除してください。

%USERPROFILE%\%AppData%\Local%\Apps

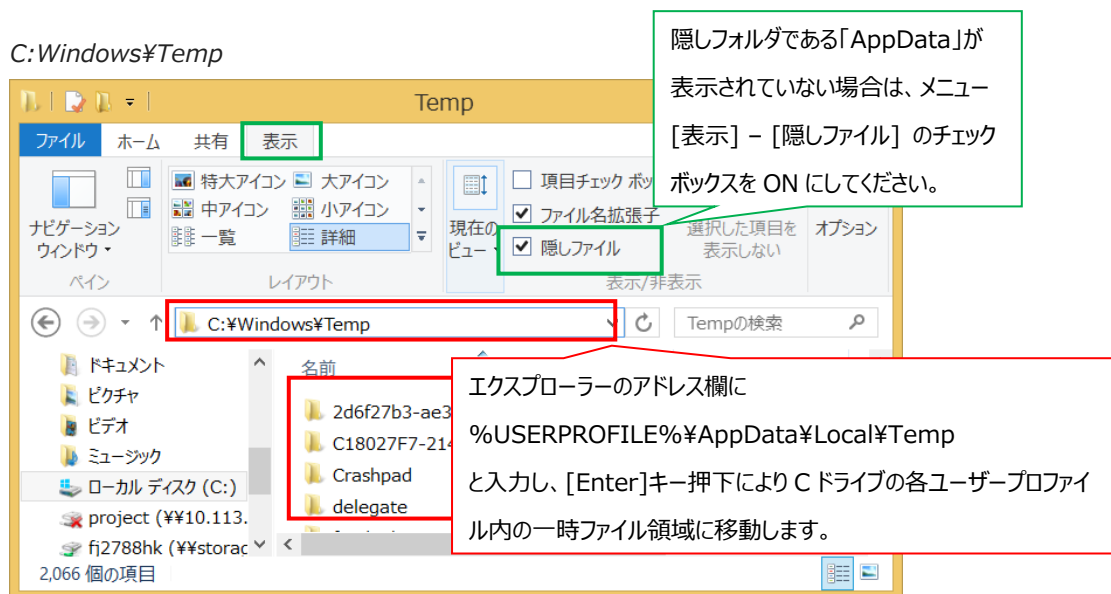


- 2) 上記ファイルを削除後、クラウドファイルサーバーが正常に動作するかご確認ください。

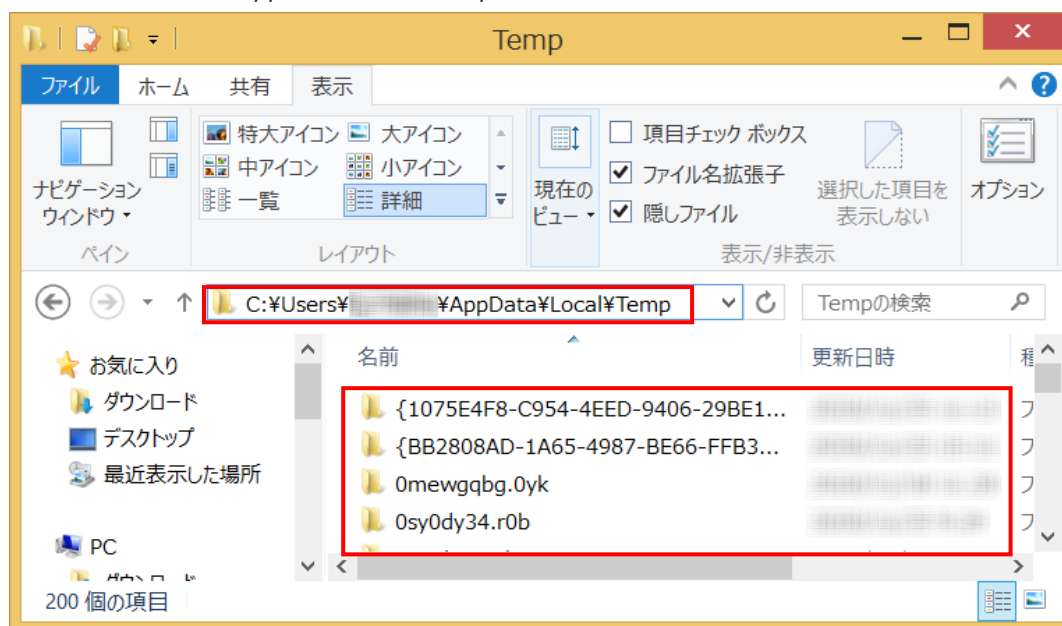
上記で解消しない場合、以下の事項についてもご確認ください。

2. 一時ファイル領域の削除

- 1) クラウドファイルサーバーが終了していることを確認し、下記 2 つのフォルダ内を削除してください。



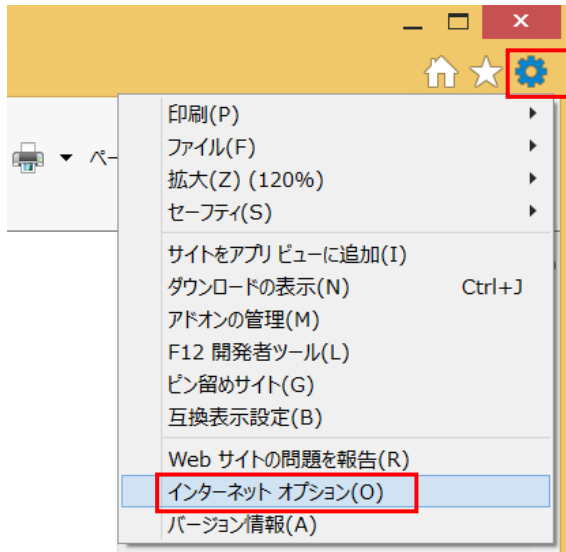
%USERPROFILE%\AppData\Local\Temp



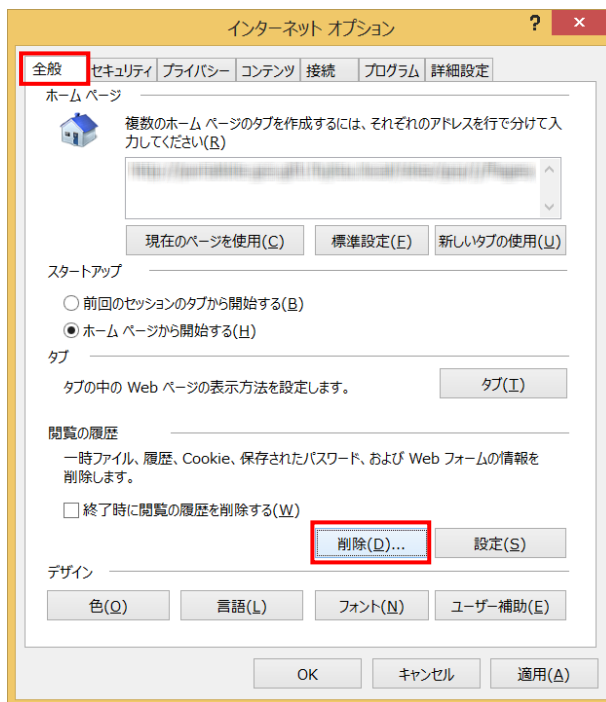
上記ファイルを削除後、クラウドファイルサーバーが正常に動作するかご確認ください。

3. Internet Explorer のキャッシュのクリア

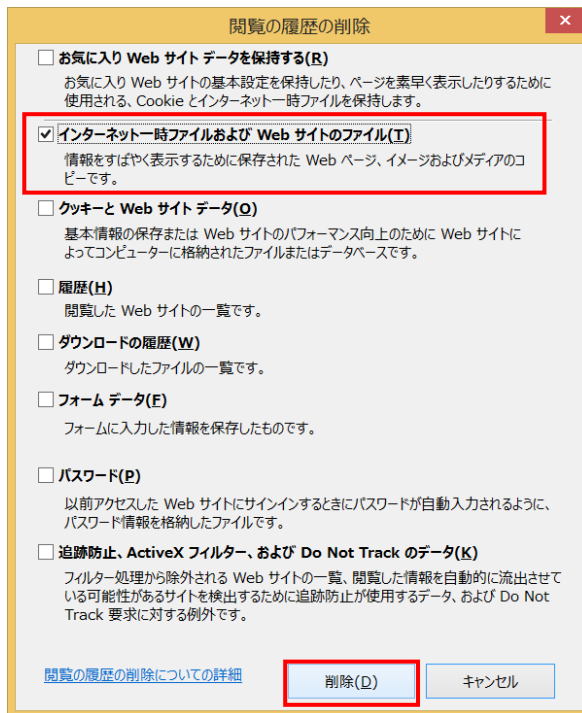
- 1) Internet Explorer を起動します。
- 2) メニューの[ツール] (歯車のアイコン) -[インターネットオプション]を選択します。



- 3) [全般]タブを選択し、"閲覧の履歴"項目の[削除]ボタンを押します。



- 4) [閲覧の履歴の削除]より、[インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル]のみにチェックを入れ、[削除]ボタンを押します。

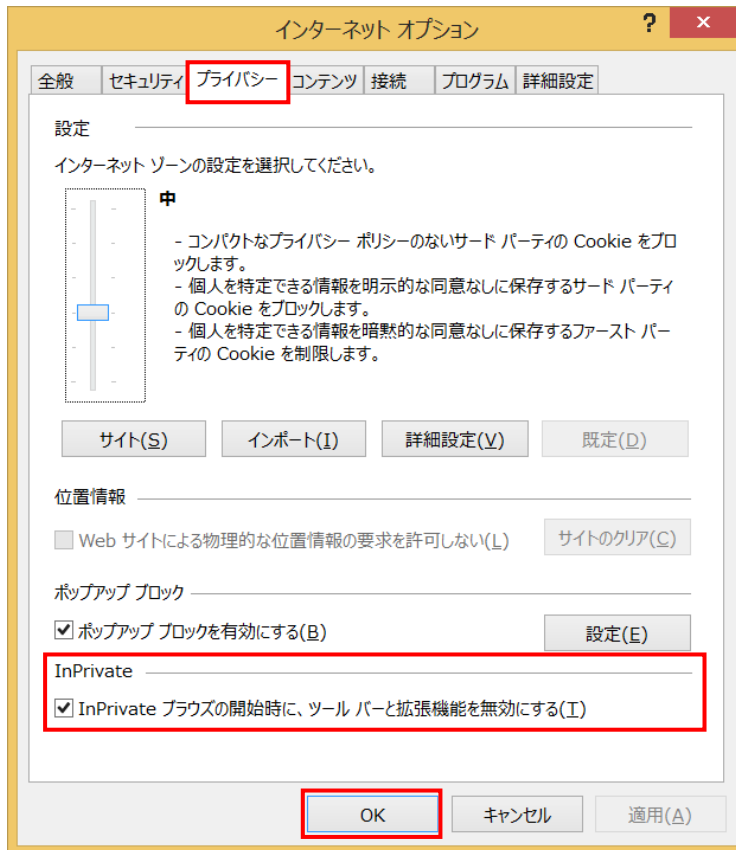


- 5) [インターネットオプション]ダイアログで[OK]ボタンを押し、ダイアログを閉じます。
- 6) 一度ブラウザを全て閉じ、クラウドファイルサーバーを起動します。

4. InPrivate ブラウズ（各機能が無効となるモード）で開く方法

【InPrivate ブラウズの方法】

- 1) IE のメニュー（右上の歯車）より [ツール] [インターネットオプション] を選択します。
- 2) [プライバシー] タブを選択します。
- 3) "InPrivate" の項目にある [InPrivate ブラウズの開始時に、ツールバーと拡張機能を無効にする] のチェックが入っていない場合は、チェックを入れます。

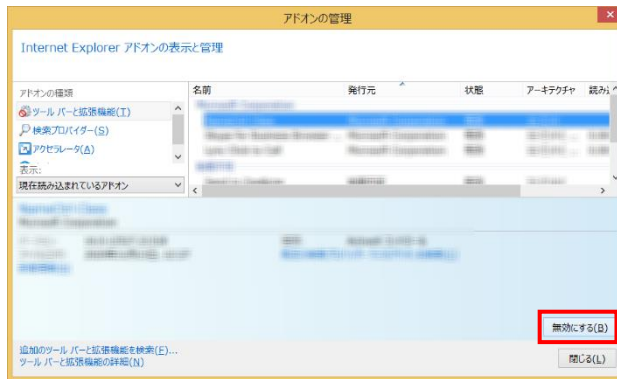


- 4) [OK] ボタンで閉じます。
- 5) IE のメニュー（右上の歯車）より [ツール] -[セキュリティ] を選択し、[InPrivate ブラウズ] を起動します。
- 6) クラウドファイルサーバー タブレット版にアクセスし、正常に動作するかご確認下さい。

InPrivate でクラウドファイルサーバーが正常に動作する場合、以下の方法で該当すると思われるアドオンの無効化を実施してください。

【アドオンの無効化】

- 1) IE の[ツール]-[アドオンの管理]メニューを選択します。
- 2) 「アドオンの管理」ダイアログが開き、一覧から該当すると思われるアドオンを選択し、右下部の「無効にする」ボタンを押して下さい。



- 3) クラウドファイルサーバー タブレット版が正常に動作するかご確認ください。

○タブレット版の場合

“ブラウザアプリケーションの場合”の「3.Internet Explorer のキャッシュのクリア」と「4.InPrivate ブラウズ（各機能が無効となるモード）で開く方法」を実施してください。

Q13. 「ネットワークドライブに再接続できませんでした。」と表示され、再起動の度に切断される。

ネットワークドライブは、再起動後は自動的に接続されません。ネットワークドライブを割り当てる際に「資格情報を記憶する」を設定することで、ユーザーIDとパスワードの入力を省くことが可能です。

以下の手順にてネットワークドライブを改めて割り当てて事象が改善するかご確認ください。

1. ネットワークドライブの再割当

- 1) 現在、ネットワークドライブに割り当てているドライブを選択し、右クリックのメニュー[切断]から解除します。
- 2) 改めて、ネットワークドライブ割り当てをお願いします。その際、次の項目にチェックを入れて割り当てます。
 - ① 「ネットワークドライブの割り当て」画面
 - ・ ログオン時に再接続する
 - ・ 別の資格情報を使用して接続する
 - ② 「Windows セキュリティ」画面
 - ・ 資格情報を記憶する
- 3) ネットワークドライブの割り当てを終了します。

設定後、PCを再起動し割り当て済みのネットワークドライブをダブルクリックし、ユーザーIDとパスワードが記憶されているかご確認ください。詳細は「[ネットワークドライブ 対応オプションサービス操作マニュアル](#)」の[6.1. ネットワークドライブの割り当て]をご覧ください。

【参考：バッチファイルでの再接続】

バッチファイルを使い明示的にネットワークドライブの割り当ての再接続を行う方法があります。作成したバッチファイルをダブルクリックするかスタートアップ等に登録することご利用できます。

1. バッチファイルの作成

- 1) 既にクラウドファイルサーバーをネットワークドライブに割り当てている場合、切断後、パソコンを再起動します
- 2) メモ帳などのテキストエディタを起動します
- 3) 以下の"net use~"の文字を入力します

```
net use Z: /delete
```

```
net use Z: https://***.fs.fj-cloud.net/dav /user:ユーザー名 パスワード /persistent:YES
```

※上記"Z"はドライブパスがZドライブの場合です。

※上記"ユーザー名"をクラウドファイルサーバーのユーザー名に置換してください。

※上記"パスワード"をクラウドファイルサーバーのパスワードに置換してください。

4) 名前を付けて保存時に、ファイルの種類に"すべてのファイル"を選択し、ファイル名.bat の名前で保存します。

2. バッチファイルの利用

- 1) バッチファイルをダブルクリック、もしくは
- 2) スタートアップとして実行する場合は以下の場所に保存します。

C:¥Users¥ユーザー名

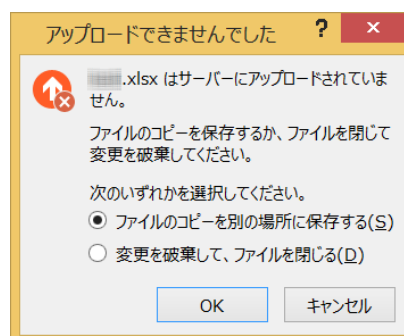
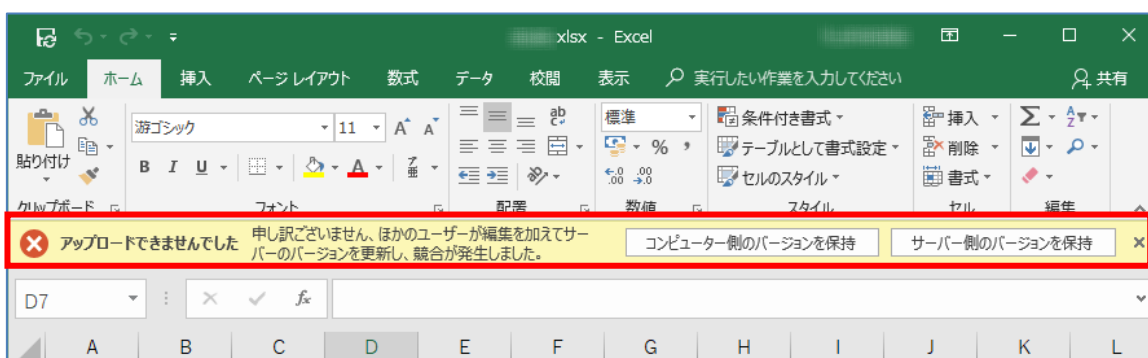
¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Windows¥StartMenu¥Programs¥Startup

※スタートアップでのバッチ使用時、まれに接続に失敗する場合があります。Windows 起動後、時間を置いてバッチを実行してください。


Q14. 「アップロードできませんでした。」のメッセージに、[コンピューター側のバージョンを保持]ボタン、[サーバー側のバージョンを保持]ボタンが表示される

ネットワークドライブ対応オプションサービスをご利用時、Excel ファイルを保存する際に以下のメッセージが表示され、保存処理が正常に完了しない場合がございます。以下のメッセージが出た際は、[コンピューター側のバージョンを保持] を選択することで保存が可能です。また、下記【対処】の設定にて事象を回避できる可能性がございます。

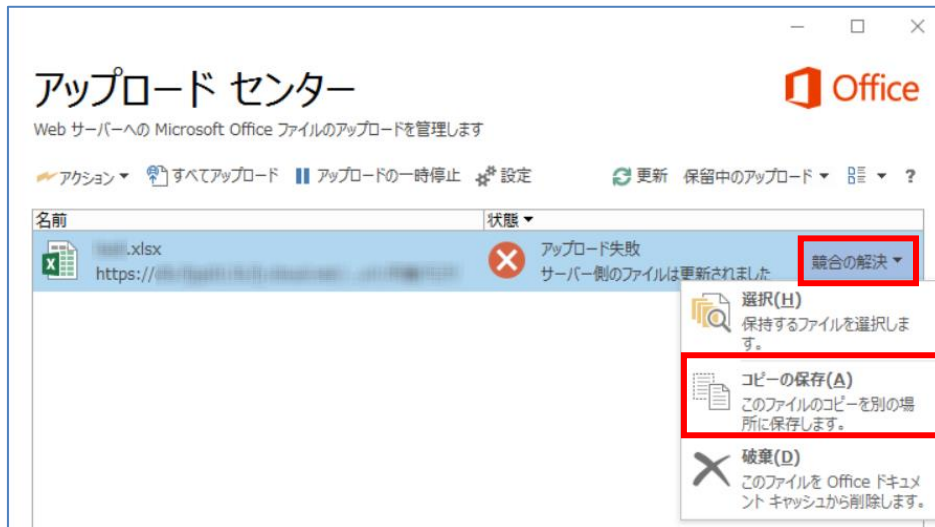
(画面例)



【対処】

- Office アップロードセンターで滞留しているファイルの退避
 - 編集中のファイルがある場合、全て閉じます。
 - Windows のタスクバーにある「アップロードセンター」のアイコン (丸いオレンジ色で白の上矢印のアイコン) をクリックします。

- 3) アップロードに失敗しているファイルが一覧に存在する場合、[競合の解決] - [コピーの保存]を選択します。



- 4) ローカル PC のデスクトップ等にファイルを保存します。
5) アップロードセンターの一覧よりファイルが無くなったことを確認します。

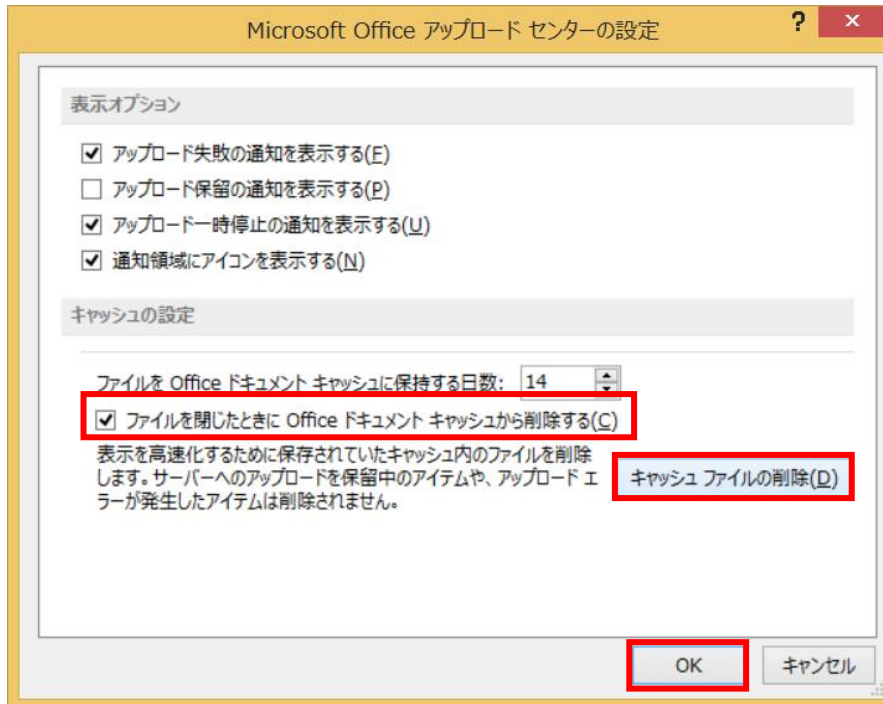
2. Office アップロードセンターの設定

- 1) Microsoft Office アップロードセンターの[設定]を押下します。



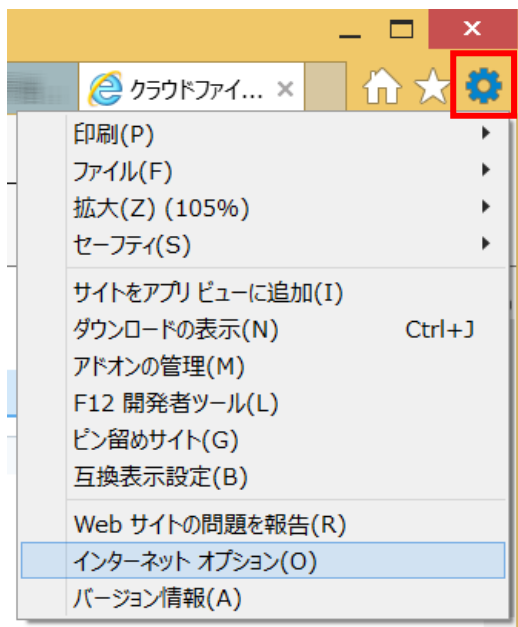
- 2) [キャッシュファイルの削除]ボタンを押下します。
3) 確認画面では[キャッシュされた情報を削除する]ボタンを押下します。
4) [ファイルを閉じたときに Office ドキュメントキャッシュから削除する]にチェックを入れます。

- 5) [OK]ボタンを押下し、設定画面を閉じます。



3. 信頼済みサイトへの登録

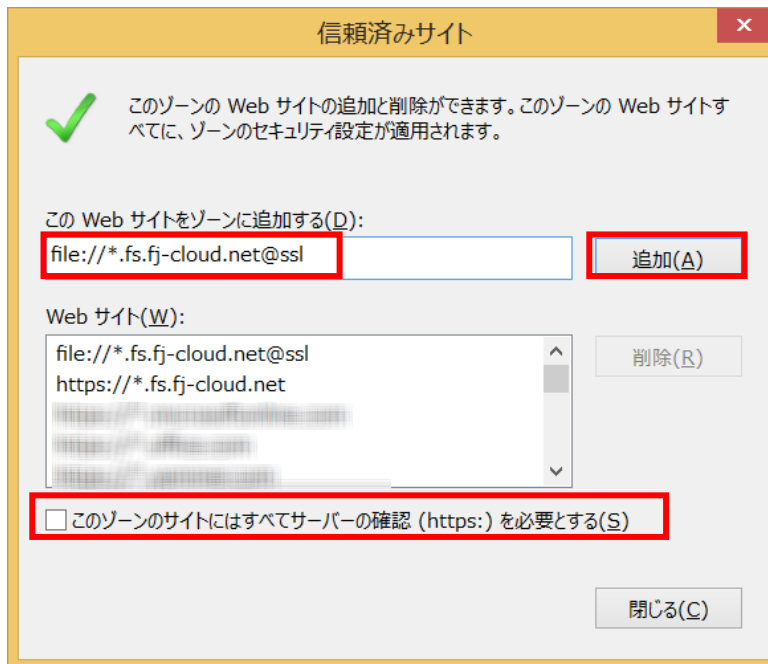
- 1) Internet Explorer を起動し、ツールメニュー（歯車アイコン）を選択し、[インターネットオプション]を選択します。



- 2) [セキュリティ]タブ - [信頼済みサイト] - [サイト]ボタンを順に選択します。



- 3) 「信頼済みサイト」画面の、[このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外します。
- 4) [この Web サイトをゾーンに追加する]のテキストボックスに以下を記入します。
file://*.fs.fj-cloud.net@ssl



- 5) 右横の[追加]ボタンを選択し、下部の[Web サイト]欄に登録された事を確認します。
- 6) [閉じる]ボタンを選択します。
- 7) 「インターネットオプション」画面で、[OK]ボタンを押し閉じます。
- 8) PC を再起動し、事象が解消しているかご確認ください。

Q15. MAC アドレス制限をしたはずの端末から接続できてしまう

Q15-1. MAC アドレス制限を“利用する”に変更していない場合

「MAC アドレス制限（すべてのユーザー）」や「MAC アドレス（特定ユーザー）」の初期値は“利用しない”になっており、管理機能の「ユーザー情報」画面に MAC アドレスをご登録されても、MAC アドレスの各設定が“利用しない”となっている場合は、MAC アドレスでの制限は行われません。

管理機能にログイン後、メニューの[サービス]-[システム管理]の「MAC アドレス制限」で“利用する”に設定することで MAC アドレス制限が有効となります。

Q15-2. 登録していない MAC アドレスの端末から接続できてしまう場合

登録された MAC アドレスの機器が、該当の端末において、有線 LAN か無線 LAN、もしくはデータ通信端末(USB や LAN 接続)のいずれか 1 つでも登録されている機器が備わっていれば、通信端末の利用有無（その MAC アドレスでの機器で通信しているかないか）に関わらず、許可対象となります。

Q16. ロック情報の日時がずれている

ネットワークドライブ対応オプションサービスにてファイルを更新した場合、ブラウザアプリケーション版・デスクトップアプリケーション版ではロック日（日時）が UTC（協定世界時）で表示されます。（UTC に 9 時間をプラスした日時が日本時間となります。）

Q17. ネットワークドライブ対応オプションサービスでキャビネット、ドロア、フォルダの中身、ファイルの一覧が表示されない・非表示になってしまう

基本サービスの「Web ブラウザアプリケーション」や「デスクトップアプリケーション」で表示されるキャビネット、ドロア、フォルダ、ファイルが、ネットワークドライブ対応オプションサービスでは表示されない場合がございます。以下の事項をご確認ください。

Q17-1. 禁止文字が使われている

キャビネット名、ドロア名、フォルダ名、ファイル名のいずれかに次の禁止文字が含まれている場合は、キャビネット、ドロア、フォルダ、ファイル一覧が表示されません。ネットワークドライブをご利用の場合は事前に下記の文字が含まれていないかご確認ください。含まれている場合は別の文字へ置き換えてご利用ください。

<キャビネット名、ドロア名における禁止文字>

禁止文字	読み方
¥	エンマーク
/	スラッシュ
:	コロン
*	アスタリスク
?	クエスチョンマーク
"	ダブルクォーテーション
<	小なり
>	大なり
	バーティカルバー
.	ピリオド ※末尾には使えません
_	アンダースコア ※ドロア名のみ対象
␣	半角スペース ※ドロア名の先頭や末尾
環境依存文字	環境依存文字（絵文字） 例) (株) ☺ など

<フォルダ名、ファイル名における禁止文字>

禁止文字	読み方
¥	エンマーク
/	スラッシュ
:	コロン
*	アスタリスク
?	クエスチョンマーク
"	ダブルクォーテーション
<	小なり
>	大なり
	バーティカルバー
.	ピリオド ※フォルダ名の最初と最後には使えません。
#	シャープ ※ファイル名に使われている場合 Office が起動しない場合があります。
環境依存文字	環境依存文字（絵文字） 例) (株) ☺ など

Q17-2. パスが長い

Windows で既定されているパスの文字数制限（260 文字未満）を超えている可能性があります。以下の対処にてキャビネット名以降のフルパスが短くなるよう変更することで解消されるかご確認ください。

【対処】

- ・ ファイル名を短くする
- ・ フォルダ名を短くする
- ・ フォルダの階層を浅くする
- ・ キャビネット名や、ドライブ名を短くする

※内部処理用に約 100 文字が使用されるため、キャビネット名以降のフルパスを約 160 文字以内に収めてください。
 ※環境により使用できる文字数が前後する可能性があります。

Q17-3. Windows 10 バージョン 1709 の環境

ネットワークドライブ対応オプションサービスをご利用時、Windows 10 バージョン 1709 (Fall Creators Update) の環境では、OS の不具合によりファイル一覧が表示されない事象が確認されています。以下の【対処】のパッチもしくはバージョン 1709 より新しいバージョンへアップデートすることで解消されるかご確認ください。

【対処】

◆パッチ「KB4089848」の適用

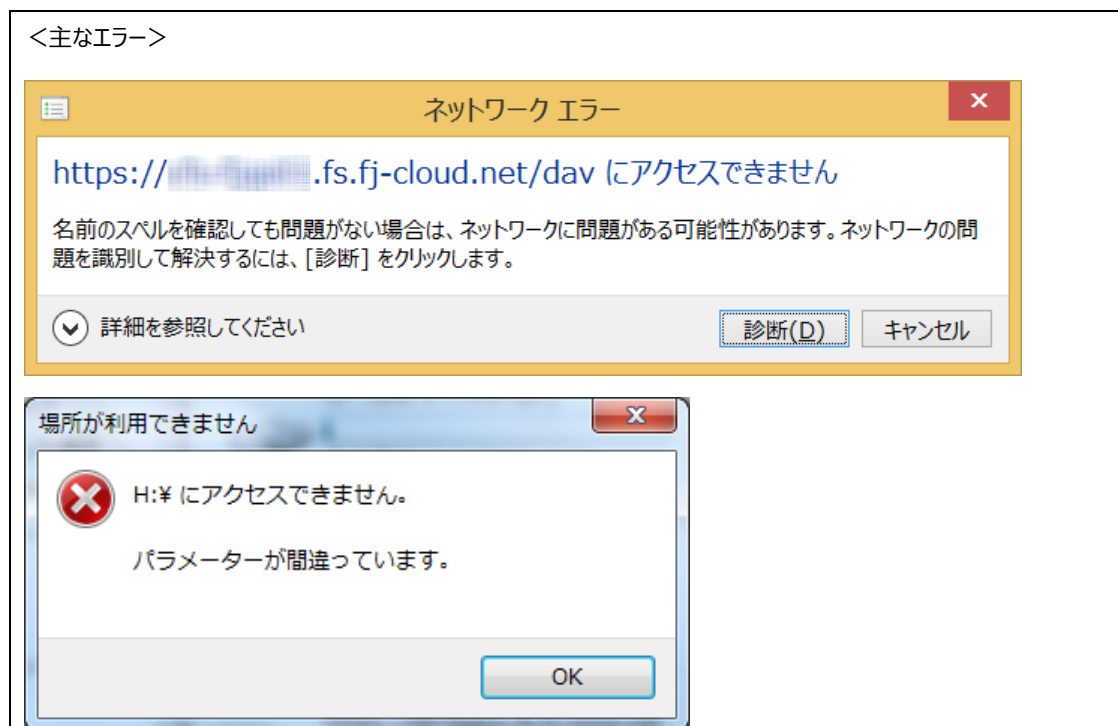
- ・Windows Update からダウンロード
- ・「Windows 10 Version 1709 の累積更新プログラム (KB4089848) 」よりダウンロード
<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4089848/windows-10-update-kb4089848>

◆バージョン 1709 以降のバージョンへのアップデート

バージョン 1709 以降のバージョンとなる、Windows 10 バージョン 1803 (April 2018 Update)
などにアップデートする。

Q18. ネットワークドライブに接続できず割り当てられない

ネットワークドライブを割り当てる際、「ネットワークエラー http://***.fs.fj-cloud.net/dav にアクセスできません」、「場所が利用できません {ドライブ文字}:¥にアクセスできません」といったエラーが表示され、接続が出来ないことがあります。原因として、クラウドファイルサーバー 管理機能側の設定や、ユーザーID の状況、または Windows OS の環境などが考えられます。



原因	対処方法
ユーザーID、パスワードの入力ミス	Q18-1. ユーザーID、パスワードの確認のため、基本サービスにログインする
ネットワークドライブ利用ユーザーに登録されていない	Q18-2. ネットワークドライブ利用ユーザーへの登録
アカウントがロックされている	Q18-3. ユーザーIDの有効期限や、ロックを解除する
アカウントの有効期限が切れている	
WebClient サービスが起動していない	Q18-4. Windows の WebClient サービスの確認
Windows に記録されているアカウント情報が古い	Q18-5. Windows の資格情報マネージャーの確認

Q18-1. ユーザーID、パスワードの確認のため、基本サービスにログインする

ユーザーID、パスワードが間違っていないか念のため「ブラウザアプリケーション」「デスクトップアプリケーション」にてログインが可能かご確認ください。

<操作マニュアル>

・[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【利用者機能】](#)

5.1. ログインする

・[デスクトップ版 インストールマニュアル【利用者機能】](#)

5. インストール

6. ログイン

Q18-2. ネットワークドライブ利用ユーザーへの登録

ネットワークドライブを割り当てるユーザーIDが、管理機能の「ネットワークドライブ利用ユーザー」に登録されていないことで割り当てができない可能性があります。

管理者IDで管理機能にログイン後、メニュー[サービス]-[オプションサービス管理]から[ユーザー設定]ボタンを押下します。ネットワークドライブ版を利用したいユーザーを登録し、保存を行ってください。

<操作マニュアル>

・[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【ファイルサーバー管理機能】](#)

16.3. ネットワークドライブ対応オプションサービスの利用設定を行う

Q18-3. ユーザーIDの有効期限や、ロックを解除する

管理機能にログイン後、メニュー[ユーザー管理]-[編集]を選択し、該当ユーザーIDの右側の「更新」ボタンを押下します。

ロックされていた場合は「アカウントロック」のチェックボックスを解除し、保存を行ってください。

有効期限が切れていた場合は、未来の日付に変更されるか[無期限]にチェックを入れ、保存を行ってください。

<操作マニュアル>

9.4. ユーザー情報を変更する

Q18-4. Windows の WebClient サービスの確認

ネットワークドライブ版では、Windows の「WebClient」サービスが使用されますので、[状態]が[実行中]になっているか、また[スタートアップの種類]が[自動]になっているかご確認ください。

1. WebClient サービスの確認

- 1) 「Windows」キーを押しながら「R」キーを押します。
- 2) 「ファイル名を指定して実行」では、以下の文字列を入力し[OK]ボタンを押下します。
services.msc
- 3) 「サービス」画面の一覧から「WebClient」の状態が「実行中」になっているかご確認ください。なっていない場合は「WebClient」をダブルクリックし、[サービスの状態]項目の「開始」ボタンを押下し、[OK]ボタンを押下してください。
- 4) また、[スタートアップの種類]が「自動」になっているか、なっていない場合は「自動」に変更してください。
- 5) 「WebClient」が[実行中]となっていることをご確認後、クラウドファイルサーバーのネットワークドライブが割り当てられるか今一度お試しください。

Q18-5. Windows の資格情報マネージャーの確認

Windows 資格情報に誤った情報が記録されている可能性がございますので以下の手順で 1 度削除を行ってください。

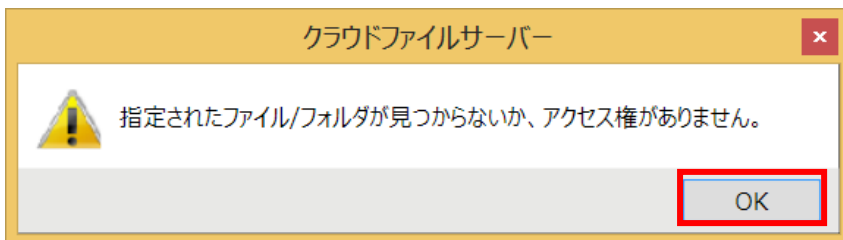
2. 資格情報マネージャーの確認

- 1) [Windows キー]を押しながら[R]キーを押下し「ファイル名を指定して実行」画面を開きます。
- 2) 以下を入力し、[OK]ボタンを押下します。
control /name Microsoft.CredentialManager
- 3) 資格情報マネージャー」画面で[Windows 資格情報]を選択します。
- 4) "汎用資格情報" や "Windows の資格情報" の項目に記録されているクラウドファイルサーバーのログイン情報を選択し、[削除]の青文字を選択し、削除します。
- 5) 改めて、ネットワークドライブ版を割り当てることができるかご確認ください。

Q19. 「指定されたファイル/フォルダが見つからないか、アクセス権がありません。」と表示される。

URL をクリックしフォルダやファイルを開こうとする際に、「指定されたファイル/フォルダが見つからないか、アクセス権がありません。」と表示される場合は以下をご確認ください。

<エラーメッセージ>



<原因>

- URL を発行後、該当のフォルダ・ファイルが異なる場所に移動されたか、削除されるなどして、指定の場所には既に存在していない。
- URL クリック後にログインしたユーザーID に対して、該当のフォルダ・ファイルが格納されている「キャビネット」および「ドドア」へのアクセス権限が付与されていない。

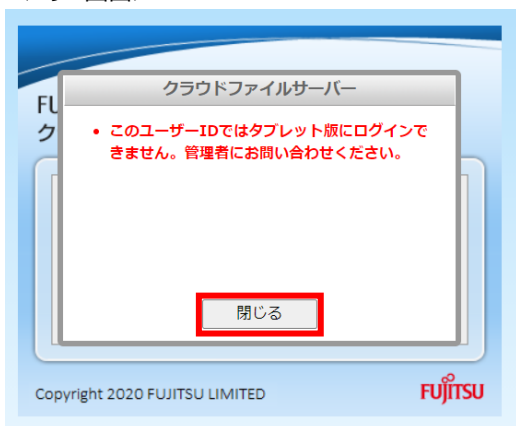
<対処>

受領したユーザー	URL を発行・送付したユーザーへ格納場所およびアクセス権について確認してもらうようご依頼ください。	
発行したユーザー	発行したユーザーID で URL より該当フォルダ・ファイルが開けるかご確認ください。	
	開ける場合	開けない場合
	URL を受領したユーザーID に対して、格納されている「キャビネット」および「ドドア」へのアクセス権限を、キャビネットオーナーより付与してください。 ・クラウドファイルサーバー操作マニュアル 【キャビネットオーナー機能】 8.1. キャビネットユーザーを割当てる 9.8. ドドアやサブドドアにユーザーのアクセス権限を設定する	移動先の該当のフォルダ・ファイル上で新たに[URL コピー]より URL を取得しなおしてください。 ・クラウドファイルサーバー操作マニュアル 【利用者機能】 32. 選択中のフォルダまたはファイルの URL をコピーする

Q20. 「このユーザーID ではタブレット版にログインできません。」と表示される。

タブレット対応オプションサービス（タブレット版）にログインした際に、「このユーザーID ではタブレット版にログインできません。管理者にお問い合わせください。」と表示される場合は以下をご確認ください。

<エラー画面>



<原因>

- タブレット版の機能が有効化されていない。
- 該当のユーザーID に対してタブレット版の利用が許可されていない。

<対処>

タブレット版は管理者がタブレットオプションサービスを利用できるように設定をし、接続が可能なユーザーを登録することでご利用いただけます。下記マニュアルをご覧ください。

内容	マニュアル
設定の流れ・動作環境	・ クラウドファイルサーバーご利用ガイド - 13. オプションサービスを利用する (2) タブレット対応オプションサービス - 13.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境
管理者の設定手順	・ クラウドファイルサーバー操作マニュアル【管理者編】 - 16.2. タブレット対応オプションサービスの利用設定を行う
一般ユーザーの利用手順	・ タブレット対応オプションサービス操作マニュアル【一般ユーザー編】 - 5. ログインとログアウト 以降

<注意！>

タブレット対応オプションサービスは、お客様のご契約内容によってはご利用いただけません。サポートデスクまでお問い合わせください。

Q21. 「アプリケーションを起動できませんでした。」や「Windows によって PC が保護されました。」と表示される。

デスクトップアプリケーション（デスクトップ版）をインストール時、または起動時に「アプリケーションを起動できませんでした。」や「Windows によって PC が保護されました」と表示され、インストールまたは起動ができない場合は、以下の手順をご確認ください。

<対処>

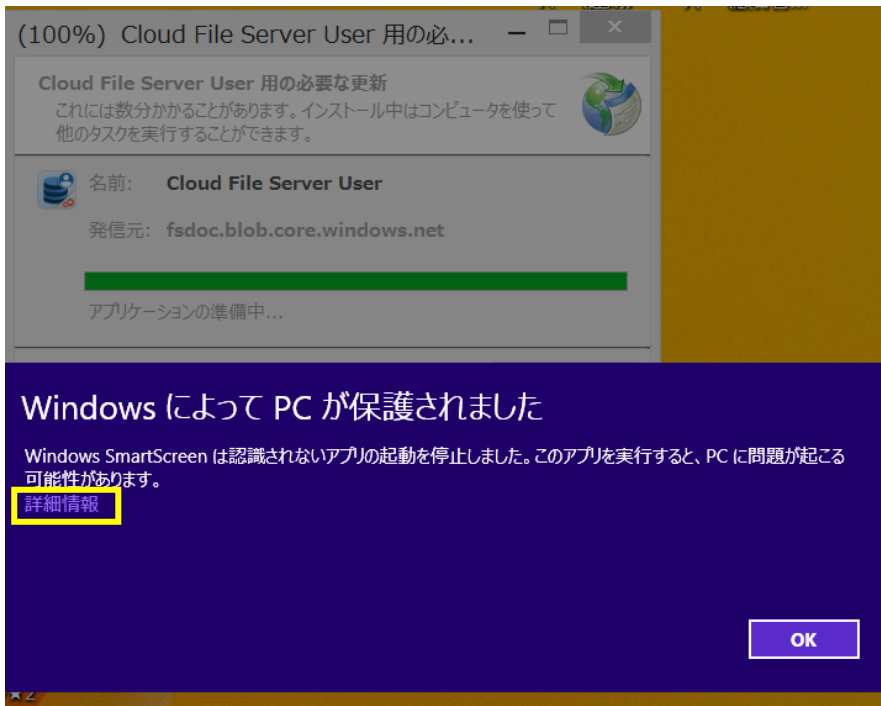
1)「アプリケーションを起動できませんでした。」画面では、[OK]ボタンを押下します。



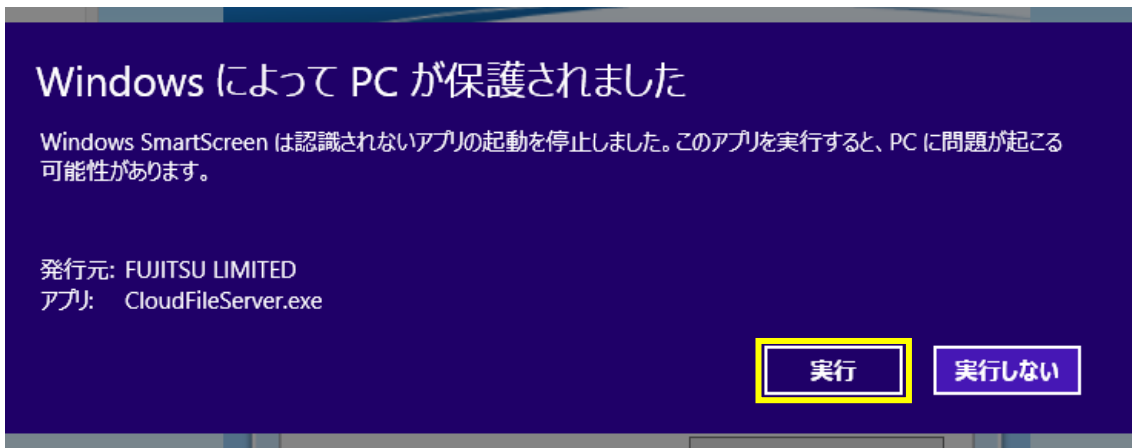
2)Q12. 「ネットワーク回線の異常を検知しました。」が表示される、もしくは「URL コピー」で出力されたリンクをクリックしても反応しない（表示・ダウンロードされない）場合の[1 .アプリケーションの一時領域の削除]を行います。

3)改めてデスクトップアプリケーションのインストール、または起動します。

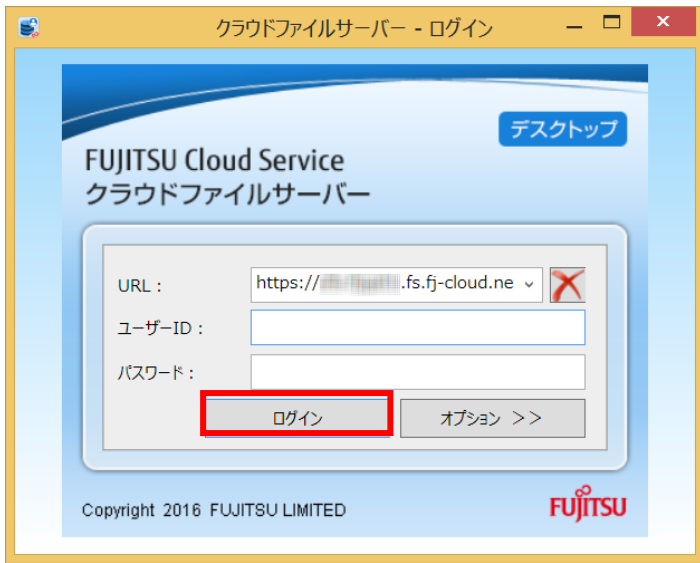
「Windows によって PC が保護されました」画面では、[詳細情報] を押下します。



- 4)「発行元：FUJITSU LIMITED」および「アプリ：CloudFileServer.exe」の表示を確認し
[実行]ボタンを押下します。



- 5)デスクトップ版のログイン画面が表示されますので、ご契約 URL、ユーザーID、パスワードをご入力の上、
[ログイン]ボタンを押下することご利用できます。



Q22. Edge で「ブラウザアプリケーション」を利用する


「ブラウザアプリケーション」を Microsoft Edge で利用するには、Internet Explorer モード（IE モード）の有効化が必要となります。Edge の設定のみで IE モードを有効化できる場合もございますが、Windows OS のエディションや Active Directory(以下、AD)の参加有無により、設定方法が異なりますのでご確認ください。

No	内容		該当項目
1	インターネットオプション 事前設定	設定済み ※ブラウザアプリケーション起動実績がある PC	No.2 にお進みください。
		未設定 ※ブラウザアプリケーション起動実績がない PC	Q22-1. 「インターネットオプション」の事前設定
2	Edge の[設定]- [既定のブラウザ-]の “Internet Explorer モードでサイトの再読み込み許可”	許可する項目が存在する ※Windows Pro (AD 未参加)や Windows Home の場合	Q22-2. Edge の[設定]-[既定のブラウザ-]から IE モードを有効化する
		許可する項目がない ※Windows Pro (AD 参加)や Windows Enterprise の場合	Q22-3. Edge の[設定]-[既定のブラウザ-]から [IE モードの許可]が存在しない場合（グループポリシーの設定）
3	No.1、No.2 の設定後、IE モードでのブラウザアプリケーション起動		Q22-4. IE モードでブラウザアプリケーションを起動する
4	参考：ようこそページを常に IE モードで開く方法		Q22-5. IE モードを自動で開く方法（Enterprise Mode Site List Manager の XML による設定）

<注意>

Microsoft Edge には 2 種類あり、「ブラウザアプリケーション」が対応しているのは、左の新しい Edge（Chromium 版）です。従来版（レガシー版、EdgeHTML 版）はご利用できませんのでご注意ください。

バージョン	Chromium 版	レガシー版/EdgeHTML 版
ブラウザアプリケーション利用可否	○	×

Microsoft 社のサポート状況	サポート中	2021 年 3 月 9 日に終了
アイコン		

Q22-1. 「インターネットオプション」の事前設定

「ブラウザアプリケーション」のご利用には、Windows の「インターネットオプション」設定が必要です。

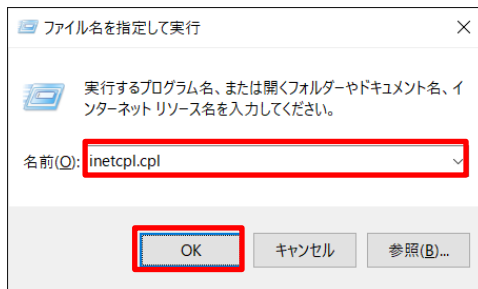
※今まで「ブラウザアプリケーション」を Internet Explorer で利用されていた PC を Edge の IE モードへ移行される場合は、本手順は不要です。

1. インターネットオプション

(ア) [Windows]キーを押しながら[R キー]を押下、「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

(イ) 入力欄に下記の文字を入力します。

inetcpl.cpl



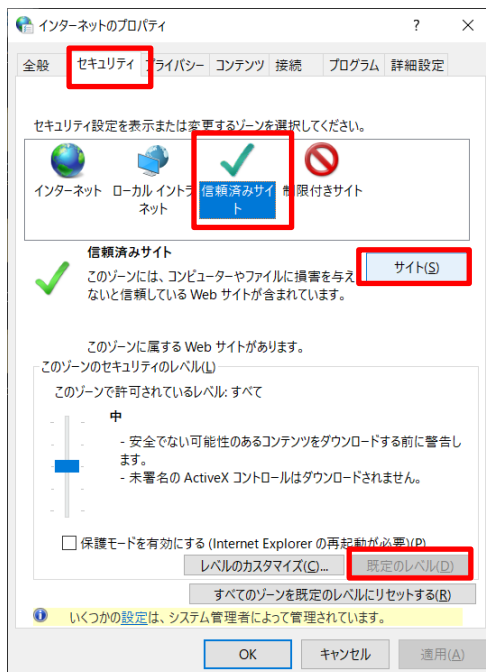
(ウ) [OK]ボタンを押下、「インターネットオプション」画面が表示されます。

2. 信頼済みサイト

(ア) [セキュリティ]タブを選択し、[信頼済みサイト]を選択します。

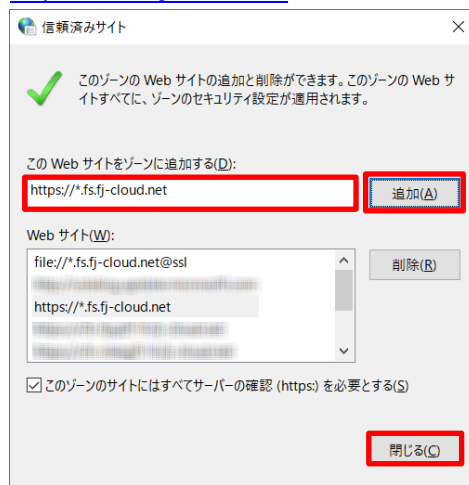
([このゾーンのセキュリティのレベル]が“中”以外の場合、[既定のレベル]ボタンを押下します。)

[サイト]ボタンを押下します。



(イ) [この Web サイトをゾーンに追加する] に以下の URL を入力します。

https://*.fs.fj-cloud.net

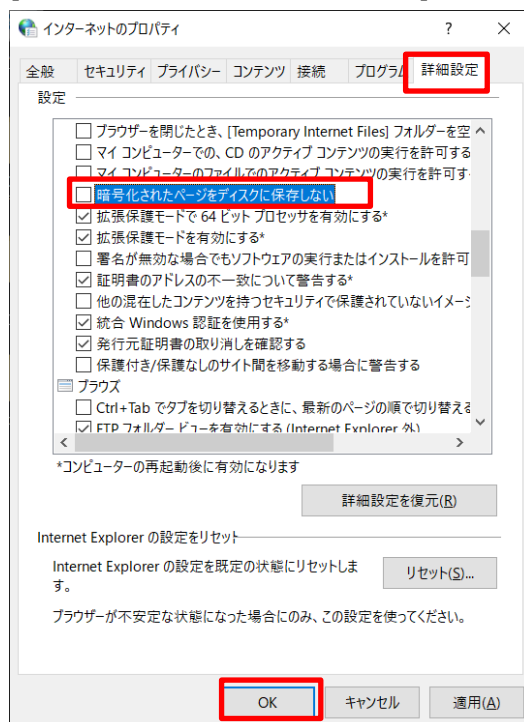


(ウ) [追加]ボタンを押下、下段の[Web サイト] のボックスに移動したことを確認し、[閉じる]ボタンを押下します。

3. 詳細設定

(ア) [詳細設定]タブを選択し、[設定]の中にある“セキュリティ”の項目まで移動します。

(イ) [暗号化されたページをディスクに保存しない]のチェックを外し、[OK]ボタンを押下します。

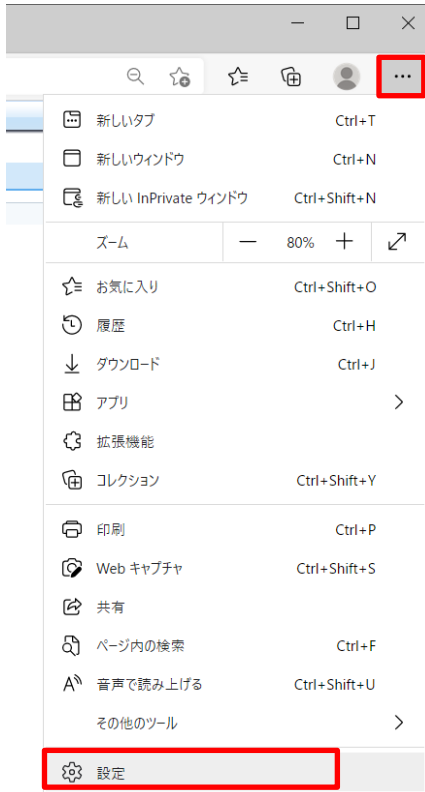


Q22-2. Edge の[設定]-[既定のブラウザー]から IE モードを有効化する または Q22-3. Edge の[設

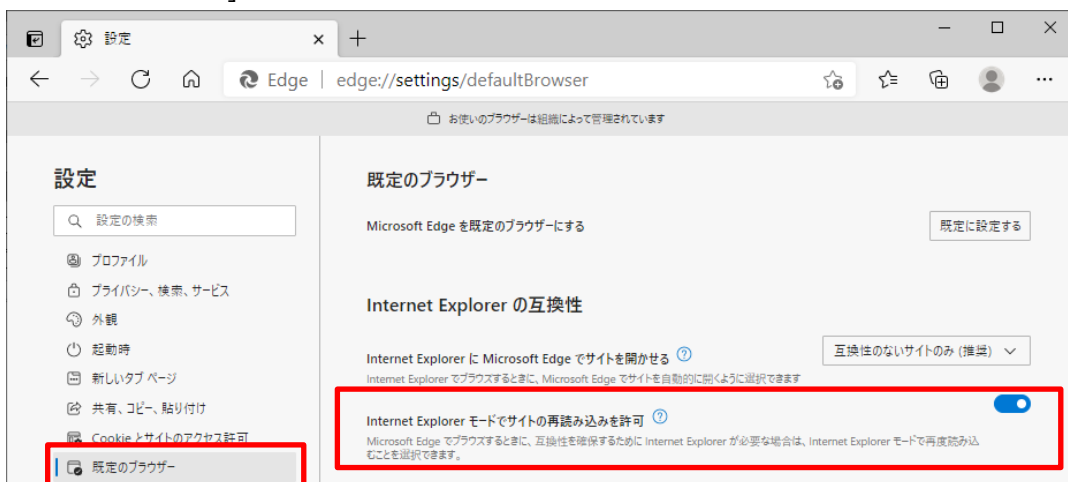
定] -[既定のブラウザ-]から[IE モードの許可]が存在しない場合（グループポリシーの設定）にお進みください。

Q22-2. Edge の[設定]-[既定のブラウザ]から IE モードを有効化する

1. Edge を起動し、設定メニュー(…)を選択し、[設定]を押下します。



2. 左側のメニューから[既定のブラウザ]を選択し、右側にある [Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可] を ON にします。



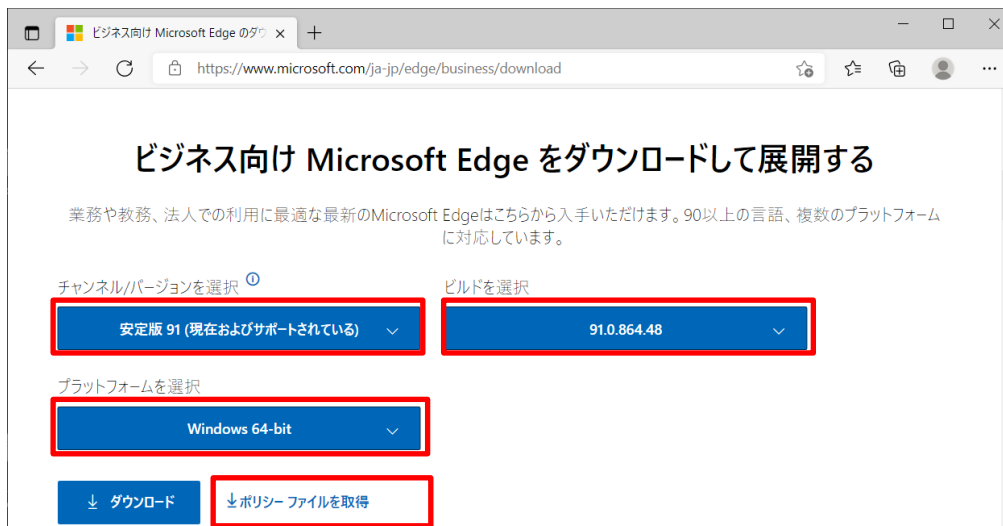
[Q22-4. IE モードでブラウザアプリケーションを起動する](#) にお進みください。

Q22-3. Edge の[設定] -[既定のブラウザ-]から[IE モードの許可]が存在しない場合（グループポリシーの設定）

1. IE モード用ポリシーファイルのダウンロードおよび格納

- (ア) Edge ダウンロードサイトを開き、ご利用の PC にあった[チャンネル/バージョン]を選択し、次に[ビルド]、[プラットフォーム]を選択します。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/edge/business/download>



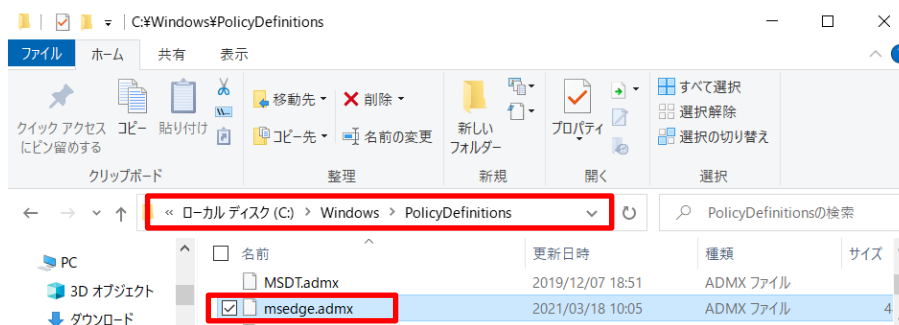
- (イ) [ポリシーファイルを取得]を押下し、以下、ZIP ファイルを PC 上に保存します

管理用テンプレート : MicrosoftEdgePolicyTemplates.zip

- (ウ) ZIP フォルダを展開し、2 つのファイルがあることをご確認ください。

A	windows¥admx¥msedge.admx	
B	OS が日本語	windows¥admx¥ja-JP¥msedge.adml
	OS が英語	windows¥admx¥en-US¥msedge.adml

- (エ) A)のファイルを以下に格納します。



対象ファイル	上記 A 「msedge.admx」
格納場所	C:¥Windows¥PolicyDefinitions

(オ) B)のファイルを以下に格納します。



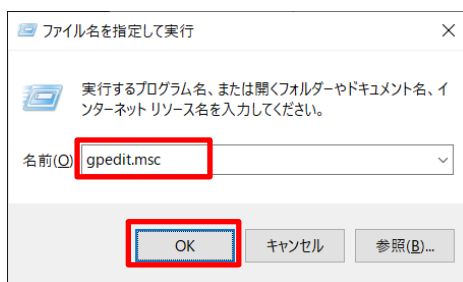
対象ファイル	上記 B 「msedge.adml」
格納場所	OS が日本語 C:\Windows\PolicyDefinitions\ja-JP
	OS が英語 C:\Windows\PolicyDefinitions\en-US

2. IE モード有効化のためのグループポリシー設定

(ア) [Windows キー]を押しながら[R]キーを押下し「ファイル名を指定して実行」を開きます。

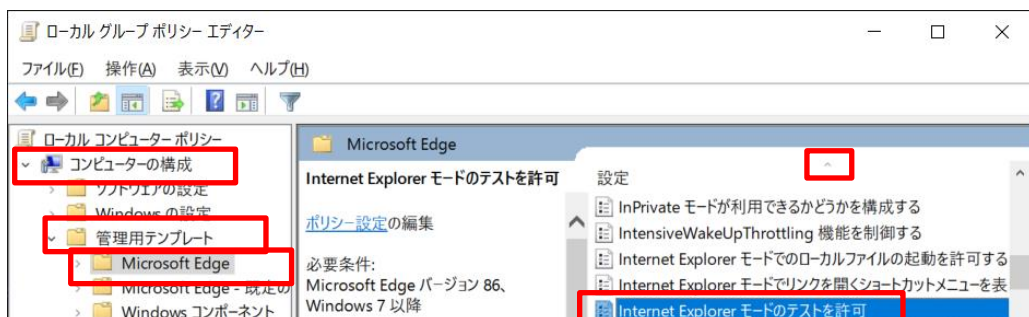
(イ) 以下を入力し、[OK]ボタンを押下します。

gpedit.msc

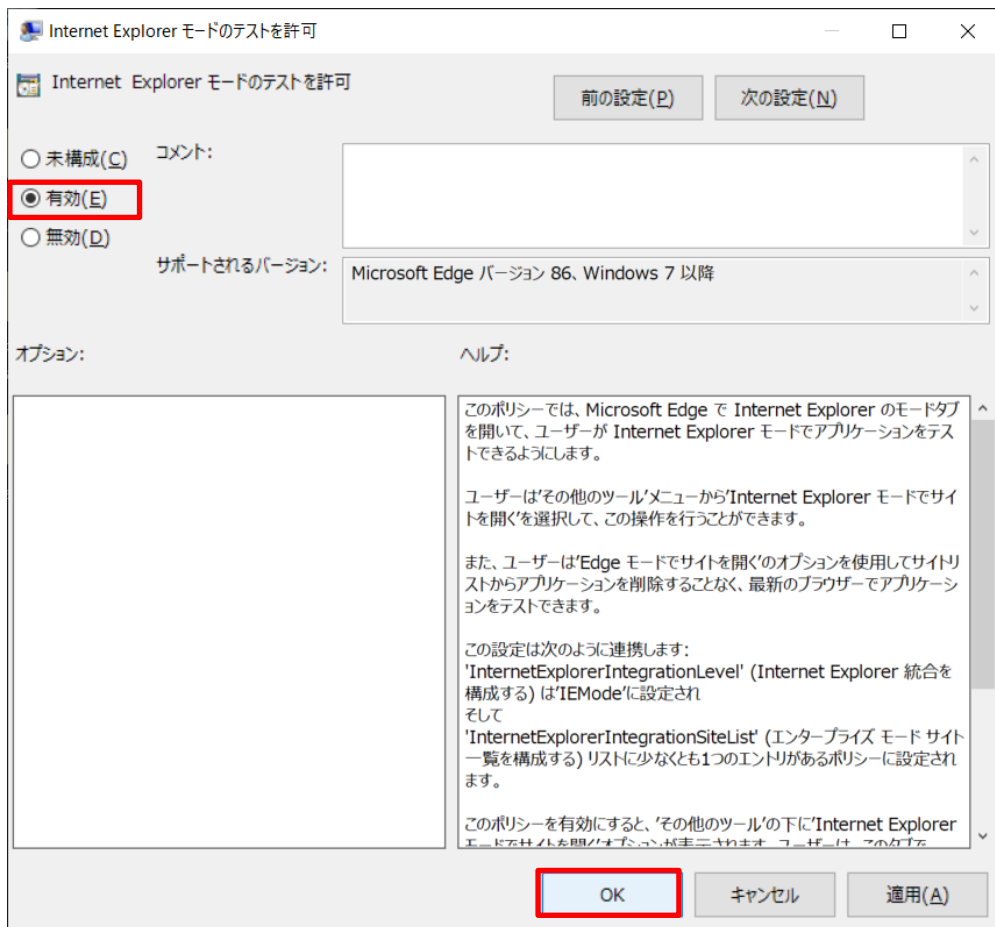


(ウ) 「グループポリシーエディター」画面の[コンピューターの構成]-[管理用テンプレート]- [Microsoft Edge]を順に選択、右側上部の [設定]を押下します。項目名で並び替わります。

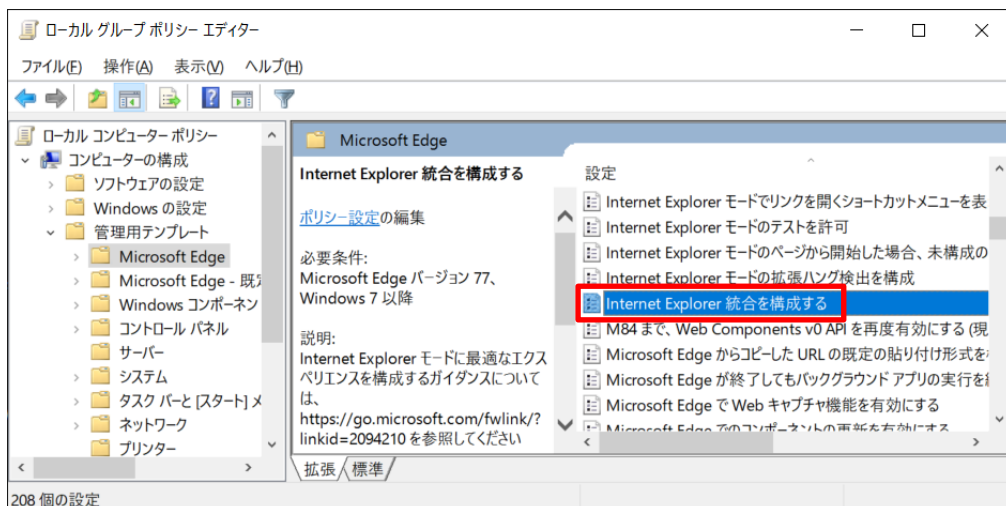
(エ) リストより[Internet Explorer モードのテストを許可]をダブルクリックします。



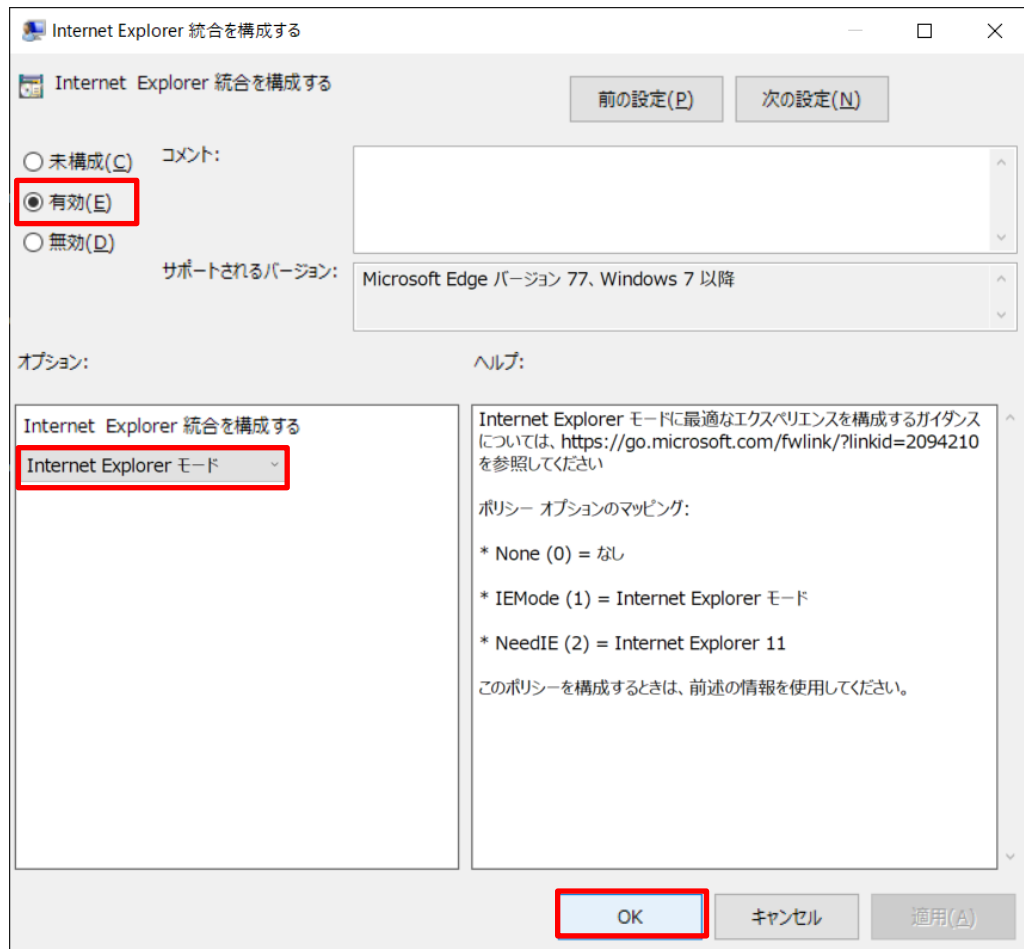
(オ) [有効]を選択し、[OK]ボタンを押下します。



(カ) リストより[Internet Explorer 統合を構成する]をダブルクリックします。



(キ) [有効]を選択し、左下のオプションで[Internet Explorer モード]を選択し、[OK]ボタンを押下します。



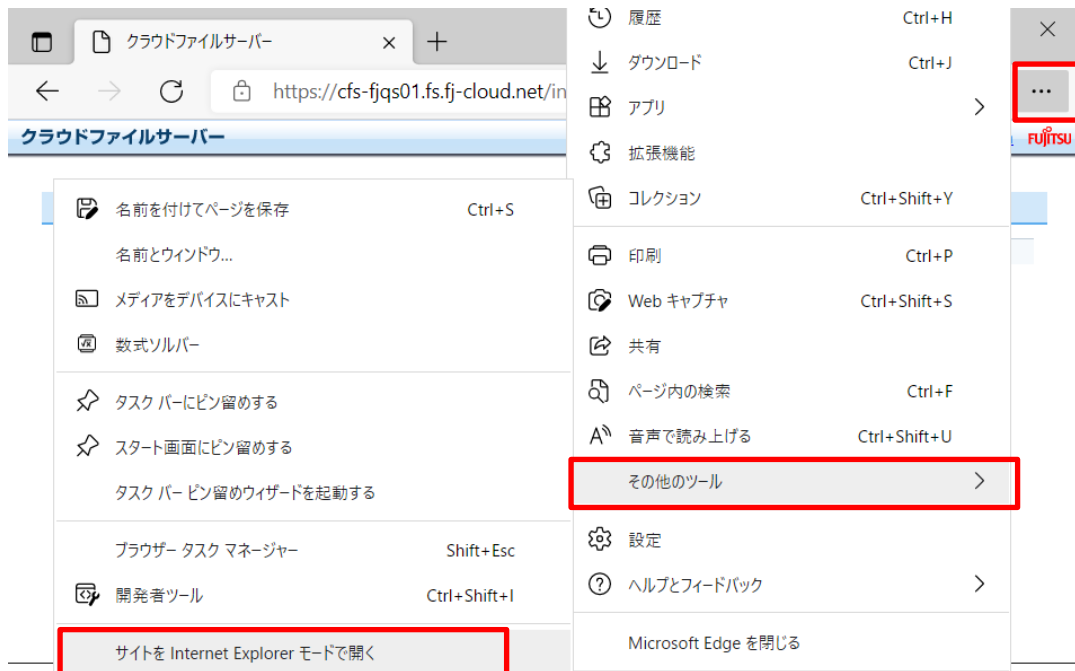
Q22-4. IE モードでブラウザアプリケーションを起動する (にお進みください)。

※グループポリシーの設定を行っても Edge の[設定]-[既定のブラウザ]に[Internet Explorer モードでサイトの再読み込み許可]が表示されるわけではありません。

Q22-4. IE モードでブラウザアプリケーションを起動する

Edge の IE モードが有効化になっている状態での、ブラウザアプリケーションの起動方法をご説明します。

1. Edge でクラウドファイルサーバーのようこそページ「https://***.fs.fj-cloud.net」を開きます。
2. Edge の設定 (…) を選択し、[その他のツール]-[サイトを Internet Explorer モードで開く]を選択します。



3. Edge の URL アドレスバーの左にあるアイコンが Internet Explorer に変わっているのが確認できます。
「クラウドファイルサーバーを開く」ボタンを押下することで、「ブラウザアプリケーション」が起動します。



Q22-5. IE モードを自動で開く方法 (Enterprise Mode Site List Manager の XML による設定)

IE モードを有効化した場合も、通常は Edge として起動するため、当サービスの「ようこそ」ページを開く度に IE モードへの切り替えが必要となります。以下により、当サービスの URL を常に IE モードで開くよう設定することが可能です。

この設定を実施した場合でも、当サービスの URL 以外のページは通常の Edge で起動されます。

1. XML ファイルの作成

(ア) テキストエディタで以下の中身をコピーペーストし、XML ファイル(.xml)として保存します。

ファイル名 (例)	ieMode.xml
ファイルの中身	<pre><site-list version="2"> <created-by> <tool>EMIESiteListManager</tool> <version>12.0.0.0</version> <date-created>03/31/2021 02:01:06</date-created> </created-by> <site url="fs.fj-cloud.net"> <compat-mode>Default</compat-mode> <open-in>IE11</open-in> </site> </site-list></pre>

2. XML ファイルの格納

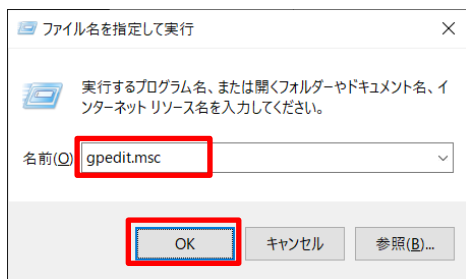
(ア) 利用のローカル PC 内の任意の場所に XML ファイルを保存します。

例：C ドライブ直下

(イ) [Windows キー]を押しながら[R]キーを押下し、「ファイル名を指定して実行」を開きます。

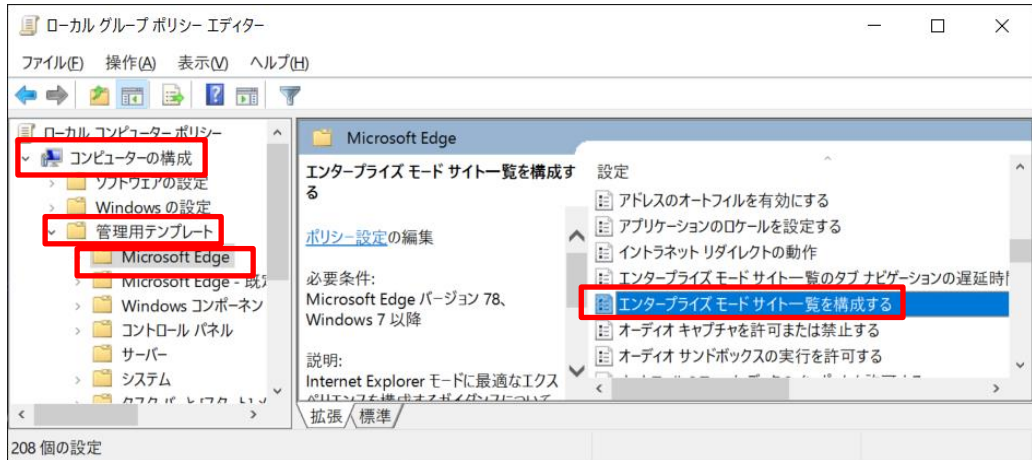
(ウ) 以下を入力し、[OK]ボタンを押下します。

gpedit.msc



(エ) 「グループポリシーエディター」画面の[コンピューターの構成]-[管理用テンプレート]- [Microsoft Edge]を順に選択し、上部の [設定]を押下することで、項目名で並び替わります。

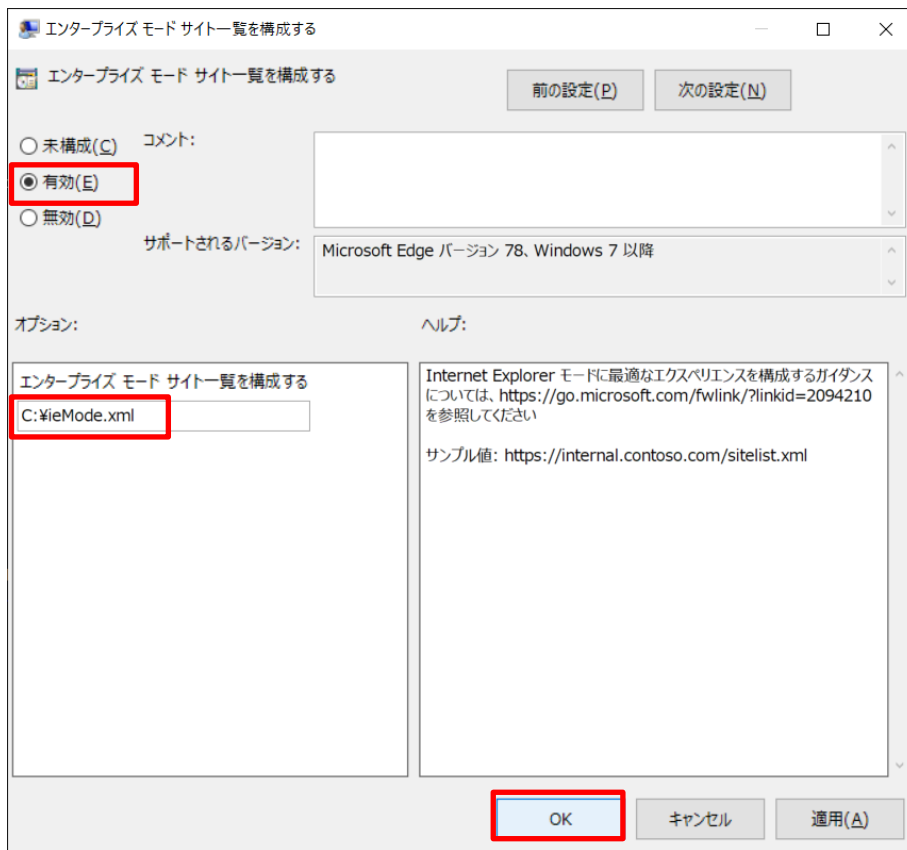
(オ) リストより[エンタープライズモードサイトを構成する]を選択します。

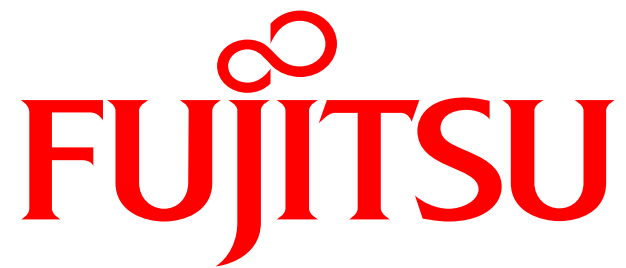


(カ) [有効]を選択、"エンタープライズモードサイトを構成する"に XML ファイルを保存した場所を記入します。

例 : C:\ieMode.xml

(キ) [OK]ボタンを押下します。





shaping tomorrow with you